

施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 **2**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	I	交流経済都市
施策名	②1-	農林業の振興(農業の振興)

所管部局	所管部局長の氏名
農林水産環境部	吉岡 茂昭

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市鳥獣被害防止計画(第2期)	鳥獣被害に対する対策を総合的かつ効果的に実施するために策定。「個体数調整」、「被害防除」、「生息地管理」の3視点から総合的に対策を行い、鳥獣被害の減少を図る。	平成23年3月	平成23年度～平成25年度	京丹後市鳥獣被害防止計画(第2期)(平成26～28年度)を策定(平成26年3月)
京丹後市緊急捕獲等計画	短期間で集中的に有害鳥獣捕獲を行い、鳥獣被害の減少を図る。	平成25年4月	平成25年度～平成27年度	
京丹後市農業農村振興ビジョン	「第1次京丹後市総合計画(平成18年3月策定)」の基本構想及び基本計画で示された産業分野の基本方針や農業分野の諸政策、さらに京都府の「京都府丹後活動プラン」など上位・関連計画を踏まえながら、より具体的な本市の農業・農村の振興方針を農業政策と農村政策の両面から示したものの。	平成20年3月	平成20年度～平成28年度	計画策定後5年を経過した段階で中間見直しを行い、概ね10年を経過した段階で抜本的な見直し
京丹後市農村環境計画	市内で行われる農業農村整備事業における環境への配慮の基本的な考え方や整備方針を定めたもの	平成19年3月	計画期間の定めなし	
京丹後市生物多様性を育む農業推進計画	豊かな自然・農村環境を後世にわたり維持・継続できるよう、「生物多様性を育む農業」を推進し、持続可能な農業の発展を目指すために策定したもの	平成23年6月	平成23年度～平成28年度	
京丹後市農業経営基盤強化の促進に関する基本構想	効率的かつ安定的な農業経営の育成を図るため、育成すべき農業経営の目標を明らかにし、その目標に向けて農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者に対して、農用地の利用の集積及びこれらの農業者の経営管理の合理化、農業経営基盤の強化を促進するための措置を総合的に講じることを定めたもの。	平成17年4月 平成24年12月見直し	平成17年度～平成26年度	
京丹後農業振興地域整備計画	農業の振興を図るべき区域を明らかにし、その土地の農業上の有効利用と農業の近代化のための施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に定めたもの。	平成18年8月 平成24年3月改定	平成24年度～平成33年度	

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があつて(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	農家の高齢化、新規就農者や担い手の不足、未耕作農地の増加、農産物単価の減少等が進んでいる。	新規就農者への資金制度の活用、認定農業者、集落営農組織等への農地集積、丹後産コシヒカリや京丹後野菜のブランド化の推進、国営開発農地での茶を始めとする収益性の高い新規作物の生産拡大を図る。	農業所得の向上及び農家経営の安定を図る。	1 担い手対策の推進 2 水田農業の振興と米の有利販売対策の強化 3 中山間地の保全対策の推進 4 国営開発農地における営農の振興 5 畜産の振興 6 特産品とブランド化の推進 9 足腰の強い農業・農村の基盤づくり
2	農村・漁村地域の高齢化が進み地域活力が減退している。	防災施設等の生活環境基盤の整備と共に、農家民宿や農作業体験等の取組を進め、魅力ある地域資源をアピールし、農村・漁村への誘客を推進する。	快適な農村生活環境を整備すると共に、都市農村の交流を促進し、地域の活性化を図る。	7 快適な農村生活環境の創造 8 都市農村交流の推進
3	鳥獣被害は依然として高い水準で発生し、農家にとっては死活問題となっている。特にサルは集落内に侵入し生活環境に被害を与えている。	短期間で集中的に有害鳥獣捕獲を行う。また、捕獲されたイノシシ、シカは食肉として有効活用を努める。サルの個体数調整捕獲を行う。	鳥獣被害の軽減を図り、営農意欲の減退を防ぐ。	10 有害鳥獣対策の強化 11 地域資源の利活用
4	農業者の高齢化等に伴い集落機能が低下し、施設の管理がままならない状況になってきている。	施設の基盤整備と長寿命化の改修を行う。	維持管理の軽減による農業の持続的発展と地域振興を図る。	9 足腰の強い農業・農村の基盤づくり
5	自然災害の頻発化などに伴い、被災後の農地・農業用施設の早期復旧や災害から住民の生命と財産及び生活を守る必要に迫られている。	農業用施設及び農村防災施設の整備により、地域住民の安心・安全を確保する。	持続的な営農の継続と耕作放棄地の発生を抑制する。	9 足腰の強い農業・農村の基盤づくり

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時(H17)		後期基本計画作成時(H20)		直近年度実績値(現状)		目標(H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
総合計画	担い手を育て、荒廃農地半減をめざします	認定農業者数	148経営体	H16	154経営体	H20	166経営体	H25	157経営体	H26
		荒廃農地	384ha	H16	141ha	H20	105ha	H25	135ha	H26
	売れる米づくりをめざします	年間の米生産量	14,270t	H16	12,957t	H20	12,332t	H25	13,000t	H26
		特別栽培米生産量	新規	-	1,059t	H20	2,417t	H25	1,500t	H26
		府内における市内産の生産割合(京丹後市/京都府)	13%	H16	17%	H20	15%	H25	18%	H26
多収益農産物を育てます	年間1億円以上の農産物	7種	H15	13種	H20	9種	H25	14種	H26	
有害鳥獣による農業被害額を削減します	有害鳥獣による農業被害額	新規	-	59,000千円	H20	52,807千円	H25	43,000千円	H26	

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		直近年度実績値(現状)		目標	
				年度	年度	年度	年度	年度	年度
個別計画	京丹後市鳥獣被害防止計画(第2期)	鳥獣による被害面積		58.07ha	H21	31.42ha	H25	29.00ha	H25
		鳥獣による被害金額		88,493千円	H21	52,807千円	H25	43,000千円	H25
個別計画	京丹後市緊急捕獲等計画	イノシシ		1,186頭	H24	1,805頭	H25	1,200頭	H27
		ニホンジカ等		1,276頭	H24	3,298頭	H25	1,300頭	H27
個別計画	京丹後市農業農村振興ビジョン	農業産出額(米)		331千円	H18	—※	H25	270～360千円	H29
		農業産出額(米以外の野菜等)		401千円	H18	—※	H25	490千円	H29
		経営耕地面積(うち担い手経営分)	担い手(担い手比率:27%→50%を目指す)	997ha	H19	1,234ha	H25	1,695ha	H29
		経営耕地面積(うち担い手経営分)	担い手以外(減少傾向の鈍化を目指す)	2,616ha	H17	2,364ha	H25	1,705ha	H29
		農用地利用集積計画面積		515ha	H19	1,042ha	H25	2,000ha	H29
		農業公社の設立		—	H19	—	H25	H21までに設立	0
		認定農業者への集積率	認定農業者の経営面積/経営耕地面積	25.2%	H19	32.60%	H25	36.6%	H29
		集落営農への集積率	集落営農の経営面積/経営耕地面積	1.9%	H19	0.40%	H25	13.2%	H29
		認定農業者の経営改善計画の粗収益の合計	各認定農業者の認定計画書の現状値の合計	2,302百万円	H19	2,841百万円	H25	3,000百万円	H29
		認定農業者数	農業経営基盤強化促進法による農業者数	148経営体	H19	166経営体	H25	160経営体	H29
		集落営農組織数	市で登録された集落営農経営体数	17経営体	H19	23経営体	H25	30経営体	H29
個別計画	京丹後市農業農村振興ビジョン	農業産出額		730千円	H18	—※	H25	750～850千円	H29
		ほまれみチャレンジ取り組み団体数		—	H19	3団体	H25	10団体	H29

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	直近年度実績値		目標		
					年度	(現状)		年度	年度
京丹後市農業農村振興ビジョン		年間売上1億円以上の農産物数		11種	H16～17	9種	H25	15種	H29
		(仮)新農産物流通機構設立準備会の設置		—	H19	設置済	H20	H20年度内設置	0
		新農産物流通機構設立の具体的プランの策定		—	H19	策定済	H24	H21年度内策定	0
		上記プランの実行		—	H19	実行中	H25	H22年度から実行	0
		「がっしゅー大好き故郷づくり」取り組み集落数		—	H19	8集落	H25	20集落	H29
		鳥獣による農作物被害額		50,000千円	H19	52,807千円	H25	30,000千円	H29
京丹後市生物多様性を育む農業推進計画		有機JAS認定者		4人	H22	5人	H25	10人	H28
		特別栽培(米)の取り組み者		221人	H22	253人	H25	325人	H28
		エコファーマー認定者		110人	H22	129人	H25	175人	H28
		認証GAP件数		1件	H22	1件	H25	3件	H28
京丹後市環境基本計画		牛の放牧によるパフファンソーン箇所数	豊かな自然を守り共生していくまち	3か所	H20	2か所	H25	7か所	H30
		農山漁村体験型旅行協議会会員数	豊かな財産を環境に生かすまち	16会員	H20	16会員	H25	50会員	H30

※ 農林水産統計における農業産出額が平成19年度から市町村単位から都道府県単位の推計に変更となったためデータなし

4 構成事務事業・評価結果一覧

DO

CHECK

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要								施策評価結果			
			H25決算額	H26予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単 独 事 業	事 業 種 別	対 象	実 施 手 法	関 与 に 必 要 性	数 値	説 明	施 策 目 的	施 策 貢 献 度	今 後 の 方 向 性
1 担い手対策の推進	1 利子助成事業	農政課	821	703 (404)	府規定	府・一部	含む	サービ	事業者	補	4	民間補完 福祉増進	1	B	現状維持	
	農業制度資金を借り入れた農業者と低温被害を受けた梨生産農家に対し利子補助助成(25人、28件)															
	2 農業技術者協議会活動促進事業	農政課	3,034	3,154 (2,754)	府規定	府・一部	含む	サービ	団体	直・負	4	民間補完 福祉増進	1	S	現状維持	
	農業技術者協議会の運営経費の負担及び活動支援															
	3 土地利用調整推進事業	農政課	63	168	府規定	他	-	サービ	事業者	直	4	民間補完 福祉増進	1	B	現状維持	
	府農業総合支援センターから受託した担い手への農地集積等を実施(37.6ha)															
	4 京力農場プラン作成等事業	農政課	611	3,222 (110)	国規定	国府全額	-	内部管	-	-	-	-	1	S	拡大	
	集落単位で作成された京力農場プラン(案)について検討・審査(作成実績11地区)															
	5 農業団体等育成強化事業	農政課	1,497	1,500 (1,500)	市規定	単費	○	サービ	団体	補	4	民間補完 福祉増進	1	S	現状維持	
	集落・地域営農組織への農地集約や作業受託を促進するための機械導入に対して補助金を交付(7団体)															
	6 認定農業者対策事業	農政課	2,545	3,200 (3,200)	市規定	単費	○	サービ	事業者	補	4	民間補完 福祉増進	1	S	現状維持	
	認定農業者への農地集約や作業受託を促進するための機械導入に対して補助金を交付(9件)															
	7 実践農場整備支援事業	農政課	200	700 (350)	府規定	府・一部	含む	サービ	事業者	補	4	民間補完 福祉増進	1	A	現状維持	
実践農場で就農研修を実施する研修者に対する後見人設置、研修用施設整備に対し補助金を交付(1件)																
8 就農研修資金償還金助成事業	農政課	3,228	3,708 (1,854)	府規定	府・一部	含む	サービ	事業者	補	4	民間補完 福祉増進	1	S	現状維持		
就農研修資金の償還に対し助成(5人)																
9 新規就農総合支援事業	農政課	21,029	28,536 (3)	国規定	国府全額	-	サービ	事業者	他	5	生活支援 安全網	1	S	現状維持		
45歳未満の独立・自営型就農者に対し、就農後5年間、150万円/年を給付																
10 京丹後農業経営実践型学舎推進事業【明許繰越】【方針4にも該当】	農政課	127,677	-	なし	国・一部	含む	施設整	事業者	委	4	民間補完 福祉増進	1	S	現状維持		
丹後農業実践学者の研修生が滞在、研修する施設を建設																
11 京丹後農業経営実践型学舎推進事業【方針4にも該当】	農政課	22,000	924 (324)	なし	単費	○	サービ	事業者	負	4	民間補完 福祉増進	1	S	現状維持		
府と共同で丹後農業実践型学舎事業を実施するための土地改良に対する負担金																
12 集落営農発展型産地づくり事業	農政課	2,919	5,880 (534)	府規定	府・一部	含む	サービ	団体	補	4	民間補完 福祉増進	1	A	現状維持		
関係集落と連携して転作作物等の栽培に取り組むための水田の乾田化システム導入に対し補助金交付(1件)																
13 経営体育成促進事業	農政課	704	1,001 (101)	府規定	府・一部	含む	サービ	団体	直	4	民間補完 福祉増進	1	A	終了・廃止		
地域農業の担い手となる法人を支援(大宮町森本地区)、適正堆肥に必要な土壌分析、法人運営関係備品の整備																
2 水田農業の振興と米の有利販売対策の強化	1 水田農業振興推進事業	農政課	15,451	11,814 (10)	国規定	国・一部	含む	サービ	団体	直・補	4	民間補完 福祉増進	1	A	現状維持	
	経営所得安定対策の推進を図るとともに売れる米づくりのための取組に補助金を交付															
	京丹後米ブランド化推進事業	農政課		6,250 (6,250)												
	平成25年度は、「水田農業振興推進事業」で実施															
2 京の米産地づくり事業	農政課	3,314	2,822 (313)	府規定	府・一部	含む	サービ	団体	補	4	民間補完 福祉増進	1	A	現状維持		
特別栽培米等の生産に必要な農業用機械導入団体・法人に対し補助金を交付(2団体)																
3 農産物集出荷貯蔵施設等整備支援事業	農政課	-	177,274 (22,474)	事業実施が必要な年度に実施												
生産・経営から流通までの総合的な強い農業づくりを支援するため補助金交付																
3 中山間地の保全対策の推進	1 中山間地域等直接支払制度事業	農政課	67,074	66,678 (16,539)	国規定	国・一部	-	サービ	団体	補	7	生活維持 確保	1	S	拡大	
中山間地域の耕作放棄防止のため、農業生産活動等を行う農業者等へ交付金を交付(45集落・1個人)																
4 国営開発農地における営農の振興	1 加工野菜等振興事業	農政課	-	580 (580)	平成26年度新規事業											
	国営農地での加工契約野菜栽培について、減農薬による作物づくりと省力化による実証栽培事業に対し補助金交付															
	2 国営丹後土地改良事業負担金	農林整備課	15,187	14,193 (10,193)	国規定	単費	○	内部管	-	-	-	-	1,4	S	現状維持	
	国営土地改良事業に係る市及び受益者の負担金について、規定償還と繰上償還															
	3 農業基盤整備促進事業	農林整備課	23,000	-	国規定	単費	○	施設整	団体	負	4	民間補完 福祉増進	1,4	S	縮小	
	府営国営団地整備事業(法面排水施設改修及び沈砂地の浚渫)の負担金の納入															
4 京丹後農業経営実践型学舎推進事業【明許繰越】【再掲】方針1	農政課	127,677	-	なし	国・一部	含む	施設整	事業者	委	4	民間補完 福祉増進	1	S	現状維持		
丹後農業実践学者の研修生が滞在、研修する施設を建設																
5 京丹後農業経営実践型学舎推進事業【再掲】方針1	農政課	22,000	924 (324)	なし	単費	○	サービ	事業者	負	4	民間補完 福祉増進	1	S	現状維持		
府と共同で丹後農業実践型学舎事業を実施するための土地改良に対する負担金																
6 優良茶園振興事業【再掲】方針6	農政課	5,843	1,120 (1,120)	府規定	府・一部	含む	サービ	団体	補	4	民間補完 福祉増進	1	S	現状維持		
茶の生産機械の導入に対して補助金を交付(機械導入1件、資材購入1件)																
5 畜産の振興	1 畜産振興一般経費	農政課	45	46 (46)	なし	府・一部	含む	内部管	-	-	-	-	1	A	現状維持	
	畜産行政事務・畜産振興を円滑に実施するための経費															
2 畜産振興事業	農政課	-	3,300 (300)	事業実施が必要な年度に実施												
畜産振興を図るため、融資主体補助型経営体育成支援事業を活用した施設整備に対し補助金交付																
6 特産品とブランド化の推進	1 農業等再生緊急支援対策事業	農政課	1,100	-	市規定	府・一部	-	サービ	団体	補	4	民間補完 福祉増進	1	A	現状維持	
	3戸以上の農家で組織する団体が行う再生産に向けての取組に対し補助金交付(7団体)															
	2 京の黒大豆・小豆等産地づくり事業	農政課	-	239 (26)	事業実施が必要な年度に実施											
	小豆・黒大豆の産地拡大や生産安定に必要な農業用機械等の導入に対し補助金交付															
	3 茶の極み塾支援事業	農政課	37	-	なし	単費	○	サービ	団体	負	4	民間補完 福祉増進	1	A	終了・廃止	
	茶の極み塾の運営経費に対して負担金で支援															
4 優良茶園振興事業【方針4にも該当】	農政課	5,843	1,120 (1,120)	府規定	府・一部	含む	サービ	団体	補	4	民間補完 福祉増進	1	S	現状維持		
茶の生産機械の導入に対して補助金を交付(機械導入1件、資材購入1件)																
5 パイプハウス整備事業	農政課	4,763	4,712 (428)	府規定	府・一部	含む	施設整	団体	補	4	民間補完 福祉増進	1	A	現状維持		
パイプハウス(九条ねぎ)の整備に対して補助金を交付(1件)																
6 集出荷貯蔵調整機械・施設整備事業	農政課	714	124 (12)	府規定	府・一部	含む	サービ	団体	補	4	民間補完 福祉増進	1	A	現状維持		
集出荷貯蔵調整機械・施設を導入・整備した団体等に対し補助金を交付(1団体)																

5. 歳出抑制の考え方について

ACT

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成27～29年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位：千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	認定農業者対策事業の総枠事業費の削減を行う。	200千円	
2	農業関連施設管理運営事業において、管理施設の移譲に伴う管理運営経費の削減	479千円		

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	05利子助成事業
細事業名	01 利子助成事業			決算書 P.214
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
821千円	822千円	1千円	99.8 %	822千円
目的	農業制度資金を借り入れた農業者に利子助成し、安定的な農業経営を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者及び低温被害を受けた梨生産農家に対して利子助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業経営基盤強化資金利子助成金 679千円 農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者（14人、17件） ○梨低温被害農林漁業セーフティネット資金利子助成金 142千円 平成22年の梨開花時期に低温被害を受けた梨生産農家 11人（11件） 			
主な財源	府補	農業経営基盤強化資金利子助成費補助金（1/2）		340千円
評価・課題等	対象者に利子助成を行い、農業経営基盤強化・安定を推進することができた。			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	01農業技術者協議会活動促進事業
細事業名	01 農業技術者協議会活動促進事業			決算書 P.216
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,034千円	3,043千円	9千円	99.7%	3,151千円
目的	農業経営基盤強化促進法に基づき、農業振興を図るために設置された農業技術者協議会の活動を支援することにより、市内全体の農業振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者の審査機関としての機能を有する農業技術者協議会において、個別具体的な経営基盤強化の推進について検討を行った。また、認定農業者・集落営農等の担い手育成のため、農業経営改善支援センターを中心に経営相談及び経営改善計画の作成指導など、経営基盤強化の促進に資する活動を行った。</p> <p>○農業技術者協議会活動経費 3,034千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営改善支援センター嘱託員報酬（1人、12か月） 1,836千円 ・社会保険料、雇用保険料 287千円 ・費用弁償 111千円 ・農業技術者協議会負担金 800千円 <p><活動実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者育成数 34人（新規7人、更新27人） ・農業法人育成数 2法人 ・経営改善相談活動 <ul style="list-style-type: none"> 相談活動日数 延べ 100日 対象人数 延べ 166人 ・認定農業者等研修会 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成26年2月12日 会場：アグリセンター大宮 内容：新たな農業施策について、平成26年度水田農業施策の概要について 参加者：約110人 			
主な財源	府補	認定農業者等確保・育成支援事業費補助金（1/2以内）		400千円
評価・課題等	<p>○認定農業者・集落営農等の担い手の育成及び農用地の利用集積の推進により、市内全体の農業振興に寄与することができた。</p> <p>○さらに認定農業者の増加と農業法人化の推進を行う必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	03農地流動化対策事業
細事業名	02 土地利用調整推進事業			決算書 P.216
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
63千円	63千円	0千円	100.0%	39千円
目的	公益社団法人京都府農業総合支援センターからの農地保有合理化事業業務を受託し、担い手への農地集積や適正な農地の保全を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京都府農業総合支援センターから農地保有合理化事業業務の受託に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 63千円 <p>※農地保有合理化事業の実績（11団地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰山町 小西1団地 0.5ha ・網野町 郷1団地 1.7ha ・丹後町 高山団地 2.4ha ・弥栄町 堤団地 9.5ha ・弥栄町 芋野団地 3.0ha ・弥栄町 和田野団地 3.0ha ・弥栄町 鴨谷団地 1.9ha ・弥栄町 坂野団地 1.5ha ・弥栄町 井辺団地 1.0ha ・久美浜町 浦明団地 10.3ha ・久美浜町 永留1団地 2.9ha <p style="text-align: right;">計 37.7ha</p>			
主な財源	諸収入 農地保有合理化促進事業等業務委託金（10/10）			63千円
評価・課題等	<p>○京都府農業総合支援センターからの受託業務である国営農地の利用権設定に係る調整業務を適切に実施することで、担い手農家への農地集積が図れた。</p> <p>○農地集積を円滑に図るため、国営団地内での利用権設定の調整を効率的に進める必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	03農地流動化対策事業
細事業名	06 京力農場プラン作成等事業			決算書 P.216
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
611千円	621千円	10千円	98.3%	6,833千円
目的	地域での徹底的な話し合いを通じて、地域農業の在り方について議論を進めることで、中核的な担い手への農地集積を促し、地域農業の競争力・体質強化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京力農場プランの作成を推進していく必要があることから、農業経営者会議、農業委員会、京都府、JA京都など関係機関の代表者で組織する「京力農場プラン検討会」を設置し、集落単位で作成された「京力農場プラン（案）」について検討及び審査を行った。また、京力農場プランの作成の推進を図るため、臨時職員を1人任用した。</p> <p>○京力農場プラン検討会活動経費 611千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金 250千円 ・京力農場プラン検討委員謝金 28千円 ・普通旅費 13千円 ・消耗品費 167千円 ・印刷製本費（農地集積図の複製） 153千円 <p>「京力農場プラン検討会」 委員数：8人、検討会：2回開催（H25年12月19日、H26年3月24日）</p> <p>※京力農場プラン作成実績（11地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰山町 国営二箇団地 ・大宮町 奥大野地区、三重地区 ・網野町 浜詰地区、新庄地区 ・丹後町 矢畑地区 ・弥栄町 井辺地区 ・久美浜町 芦原地区、海士地区、金谷地区、栃谷2団地 			
主な財源	府補	京力農場プラン作成事業費補助金（10/10）	611千円	
評価・課題等	<p>○担い手の確保・育成や農地集積計画などを総合的にまとめた「京力農場プラン」を11地区作成したことにより、該当地域における5年後に目指すべき姿を明確にすることができた。</p> <p>○市内の全集落でプラン策定に向けた取組を進めていく必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04農業団体等育成強化事業
細事業名	01 農業団体等育成強化事業			決算書 P.216
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,497千円	1,500千円	3千円	99.8%	1,500千円
目的	積極的な活動を行う農業団体等の育成支援を行い、活力ある地域農業の実現を目指す。			
主要な事務・事業及び成果の概要	集落・地域営農組織への農地集積や作業受託を推進するため、機械・施設等の導入に対して補助金を交付した。 ○農業団体等育成強化事業補助金 1,497千円			
	・農業生産振興団体活動支援事業（3団体）			
	事業主体	内 容	事業費	補助金額
	AFグループ	甘藷洗浄・選果・根毛処理機各1台	2,254千円	249千円
	農会	除雪機 1台	900千円	249千円
	おおべらファーム	色彩選別機 1台	2,020千円	249千円
	・集落営農団体等活動活性化事業（3団体）			
	事業主体	内 容	事業費	補助金額
	溝野農家組合	自動選別計量機 1台	285千円	88千円
	川上南部地区営農組合	田植機 1台	2,400千円	311千円
久住営農組合	乾燥機 1台	1,517千円	311千円	
・地域特産物生産・販売活動支援事業（1団体）				
事業主体	内 容	事業費	補助金額	
網野町ハウス園芸部会	販売促進用ポスター 250枚	131千円	40千円	
主な財源				
評価・課題等	○農業団体による作業の効率化・合理化が推進され、農家経営の安定と組織の育成強化につながった。 ○担い手不足が進行している中、集落内の作業等を請け負う集落営農組織等の育成が必要である。			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	05認定農業者対策事業	
細事業名	01 認定農業者対策事業			決算書 P.216	
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
2,545千円	2,545千円	0千円	100.0%	3,200千円	
目的	認定農業者の営農及び農業経営を支援し、地域農業の振興及び活性化を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	認定農業者への農地集積や作業受託が進むよう、農業経営改善計画による機械・施設導入経費に対し支援を行った。				
	○認定農業者支援事業補助金（経営規模拡大支援事業）			2,545千円	
	区分	件数	内容	事業費	補助金額
	峰山町	1件	畔塗機 1台	798千円	258千円
	網野町	3件	甘藷つる処理機 1台	900千円	323千円
			甘藷つる処理機 1台	1,050千円	323千円
			パイプハウス 1棟	1,764千円	323千円
	丹後町	2件	自走式動力噴霧機 1台	800千円	259千円
			色彩選別機 1台	2,500千円	323千円
	弥栄町	1件	管理機 1台	337千円	108千円
久美浜町	2件	フォークリフト、ベルトコンベア、はかり 各1台	1,450千円	323千円	
		乗用モア 1台	945千円	305千円	
計	9件		10,544千円	2,545千円	
主な財源	府補 未来づくり交付金（認定農業者支援事業補助金）			1,000千円	
評価・課題等	○認定農業者の機械・施設の導入費用に対し支援することにより、担い手の育成と農作業の効率化が図れた。 ○農作業の機械化を図る一方、安定した農業経営が行えるよう関係機関と連携した経営指導が必要である。				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業														
細事業名	01 実践農場整備支援事業			決算書 P.218														
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額														
200千円	200千円	0千円	100.0%	0千円														
目的	新規就農希望者を受け入れ、農業技術等の研修を実施し、地域農業の担い手の確保・育成を図る。																	
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>就農研修が必要な研修者に対する後見人の設置、研修用施設整備の支援を行い、就農に向けた実践的な農業実習を支援した。</p> <p>○新規就農者実践農場整備支援事業補助金 200千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>積 算</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後見人設置費</td> <td>5千円/月×4月(1年目)</td> <td>20千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">研修用機械等整備事業費</td> <td>ブドウ雨よけ施設リース料(4か月分)</td> <td>100千円</td> </tr> <tr> <td>スピードスプレーヤー、トラクター、小型コンボ使用料(4か月分)</td> <td>80千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>200千円</td> </tr> </tbody> </table>				内 容	積 算	事業費	後見人設置費	5千円/月×4月(1年目)	20千円	研修用機械等整備事業費	ブドウ雨よけ施設リース料(4か月分)	100千円	スピードスプレーヤー、トラクター、小型コンボ使用料(4か月分)	80千円	合 計		200千円
	内 容	積 算	事業費															
後見人設置費	5千円/月×4月(1年目)	20千円																
研修用機械等整備事業費	ブドウ雨よけ施設リース料(4か月分)	100千円																
	スピードスプレーヤー、トラクター、小型コンボ使用料(4か月分)	80千円																
合 計		200千円																
主な財源	府補 新規就農者実践農場整備支援事業補助金(1/2以内)			100千円														
評価・課題等	<p>○新規就農者の実践的な研修は、地域との関係づくりに有効な事業であり、就農者の確保・育成に役立っている。</p> <p>○研修希望者の目指す農業に有効な研修であること、研修後にスムーズな就農につながることを目指し、京都府と連携したサポートの強化が必要である。</p>																	
事業所管課	農林水産環境部/農政課																	

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業															
細事業名	02 就農研修資金償還金助成事業			決算書 P.218															
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興															
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額															
3,228千円	3,228千円	0千円	100.0%	3,948千円															
目的	就農研修の後、営農開始する就農者の就農初期における負担を軽減することで新規就農者の確保・育成を図る。																		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京都府就農研修資金を借り受け就農研修を行った後、就農する者に対し、研修資金の償還に対する助成を行った。</p> <p>○就農研修資金償還金助成金 3,228千円</p> <p>就農研修資金を借り受けた者のうち、京丹後市において就農し、かつ就農時の年齢や就農形態が一定の要件を満たす者に対し、償還金の全部又は一部を助成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象者数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>1人</td> <td>720千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>2人</td> <td>1,068千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>2人</td> <td>1,440千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5人</td> <td>3,228千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	対象者数	補助金額	峰山町	1人	720千円	大宮町	2人	1,068千円	弥栄町	2人	1,440千円	合計	5人	3,228千円
区分	対象者数	補助金額																	
峰山町	1人	720千円																	
大宮町	2人	1,068千円																	
弥栄町	2人	1,440千円																	
合計	5人	3,228千円																	
主な財源	府補 就農研修資金償還金助成事業費補助金 (1/2以内)			1,614千円															
評価・課題等	<p>○新規就農者の就農後の経営安定の一助となる事業であり、新規就農者の育成が図れた。</p> <p>○今後も京都府と連携した就農後のサポート強化が必要である。</p>																		
事業所管課	農林水産環境部／農政課																		

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業																																																																
細事業名	04 新規就農総合支援事業			決算書 P.218																																																																
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																																																																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																																
21,029千円	21,031千円	2千円	99.9%	24,099千円																																																																
目的	経営の不安定な就農初期の所得確保を支援するために、青年就農者に給付金を給付し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。																																																																			
主要な事務・事業及び成果の概要	給付対象者要件を満たす青年就農者に対し、青年就農給付金（経営開始型）を給付した。 【主な給付対象要件】																																																																			
	<ul style="list-style-type: none"> ・独立自営就農であること。 ・独立自営就農時の年齢が、45歳未満であること。 ・京力農場プランに中核的担い手として位置付けられていること。 ・独立自営就農後5年以内であること。 ・前年の総所得額が250万円以内であること。 【給付金額及び給付期間】 <ul style="list-style-type: none"> ・給付金額：150万円/年（夫婦受給の場合は、225万円/年） ・給付期間：経営開始後5年間（既に経営開始していた場合は、残りの年数） 																																																																			
	○青年就農給付金（経営開始型）		21,000 千円 (単位：経営体、千円)																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">半年分受給者</th> <th colspan="2">1年分受給者</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>経営体</th> <th>給付金額</th> <th>経営体</th> <th>給付金額</th> <th>対象（うち夫婦）</th> <th>給付合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3,000</td> <td>2</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>1</td> <td>750</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>1</td> <td>750</td> <td>3</td> <td>5,250</td> <td>4 (1)</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>1</td> <td>750</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>6,000</td> <td>4</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>4,500</td> <td>3</td> <td>4,500</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3</td> <td>2,250</td> <td>12</td> <td>18,750</td> <td>15 (1)</td> <td>21,000</td> </tr> </tbody> </table>						区分	半年分受給者		1年分受給者		合計		経営体	給付金額	経営体	給付金額	対象（うち夫婦）	給付合計	峰山町	0	0	2	3,000	2	3,000	大宮町	1	750	0	0	1	750	網野町	1	750	3	5,250	4 (1)	6,000	丹後町	1	750	0	0	1	750	弥栄町	0	0	4	6,000	4	6,000	久美浜町	0	0	3	4,500	3	4,500	合計	3	2,250	12	18,750	15 (1)	21,000
区分	半年分受給者		1年分受給者		合計																																																															
	経営体	給付金額	経営体	給付金額	対象（うち夫婦）	給付合計																																																														
峰山町	0	0	2	3,000	2	3,000																																																														
大宮町	1	750	0	0	1	750																																																														
網野町	1	750	3	5,250	4 (1)	6,000																																																														
丹後町	1	750	0	0	1	750																																																														
弥栄町	0	0	4	6,000	4	6,000																																																														
久美浜町	0	0	3	4,500	3	4,500																																																														
合計	3	2,250	12	18,750	15 (1)	21,000																																																														
	○推進事務費（旅費、消耗品費、通信運搬費）		29 千円																																																																	
主な財源	府補 新規就農総合支援事業費補助金（10/10）			21,020千円																																																																
評価・課題等	○青年就農者に対して給付金を給付し、経営の不安定な就農初期の所得確保を支援することで、就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることができた。 ○京力農場プランの策定を円滑に行い、独立・自営就農者の確保及び育成を図る必要がある。																																																																			
事業所管課	農林水産環境部／農政課																																																																			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業
細事業名	05 京丹後農業経営実践型学舎推進事業（繰越）			決算書 P.218
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 繰越予算額
127,677千円	132,213千円	4,536千円	96.5 %	132,213千円
目的	京都府と京丹後市が共同で大規模農業経営者の育成に総合的に取り組む「丹後農業実践型学舎」を創設し、国営開発農地に入植する安定的な農業生産の担い手育成を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>旧和田野保育所を改修し、丹後農業実践型学舎の研修生が滞在、研修する丹後農業実践型学舎研修生滞在施設（宿舍棟：10室、共同棟）を建設した。また、学舎用地にエコエネルギーセンターで製造した液肥を散布するための機械を購入した。</p> <p>○丹後農業実践型学舎研修生滞在施設建設費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役務費 237 千円 建築確認申請手数料、建築確認中間検査・完了検査手数料 し尿汲取手数料、水道開栓手数料、水道工事検査手数料 ・委託料 6,549 千円 用地測量、実施設計、浄化槽清掃等 ・工事請負費 112,157 千円 滞在施設整備工事（機械設備、電気設備、建築主体） ・備品購入費 228 千円 滞在施設備品（机、椅子、書棚） ・負担金、補助金及び交付金 441 千円 水道加入分担金 <p>○丹後農業実践型学舎用液肥散布車・液肥運搬車購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役務費 69 千円 自動車登録手数料、自動車リサイクル料、自動車損害保険料 ・備品購入費 7,976 千円 液肥散布車・液肥運搬車 各1台 ・公課費 20 千円 液肥運搬車自動車重量税 			
主な財源	国補 市債	農山漁村活性化7° 05° 1外支援交付金（1/2） 農業経営実践型学舎整備事業債（合併特例債）		59,473千円 63,000千円
評価・課題等	<p>○丹後農業実践型学舎の研修生が滞在するための施設を弥栄町和田野地内に建設し、今後の学舎生を受け入れる住宅環境を整備することができた。</p> <p>○学舎生の増加に伴い、研修修了後の住居の斡旋や学舎用地の確保等、計画的な就農環境の基盤整備を実施する必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業
細事業名	05 京丹後農業経営実践型学舎推進事業			決算書 P.218
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
22,000千円	22,000千円	0千円	100.0%	0千円
目的	京都府と京丹後市が共同で大規模農業経営者の育成に総合的に取り組む「丹後農業実践型学舎」を創設し、国営開発農地に入植する安定的な農業生産の担い手育成を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京都府と京丹後市が共同で実施する丹後農業実践型学舎事業の学舎用地の土地改良を行う負担金を京都府へ支出した。</p> <p>○負担金、補助及び交付金 22,000 千円</p> <p>・学舎用地整備事業負担金</p> <p>土地改良面積 峰山町 小西団地0.5ha、矢田団地1.7ha、二箇団地7.0ha 網野町 郷団地3.3ha 丹後町 高山団地2.4ha 弥栄町 堤団地9.5ha、上野団地1.8ha、奈良岡団地2.5ha 鴨谷団地1.9ha 久美浜町 永留1・2団地3.8ha</p> <p>整備内容 鳥獣対策用のフェンス設置、暗渠排水、堆肥投入、礫の除去等</p>			
主な財源	市債 農業経営実践型学舎用農地整備負担金事業債（公共事業等債）			20,800千円
評価・課題等	<p>○丹後農業実践型学舎事業を実施するために学舎用地となる国営開発農地の整備をする負担金を支出し、事業を円滑に実施することができた。</p> <p>○学舎生の増加に伴い、学舎用地を計画的に確保していく必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	10集落営農発展型産地づくり事業								
細事業名	01 集落営農発展型産地づくり事業			決算書	P.220							
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額								
2,919千円	2,920千円	1千円	99.9%	2,310千円								
目的	「京カ農場プラン」に基づき集落営農組織等が取り組む農地集積・経営基盤強化に係る体制整備に対して支援を行い、地域農業の維持、発展を図る。											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域で策定された「京カ農場プラン」に基づき、地域農業再生の核となる法人等の加工・流通販売の多角化や特別栽培米の生産拡大に係る支援を行った。</p> <p>○集落営農発展型産地づくり事業費補助金 2,919千円 関係集落等と連携して転作作物等の栽培に取り組むため、水田の乾田化システムを導入した。</p>											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>内 容</th> <th>総事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>誠農海部(株)</td> <td>水田の乾田化システム設置工事 (久美浜町品田地区内 ほ場)</td> <td>5,312千円</td> <td>2,919千円</td> </tr> </tbody> </table>					事業実施主体	内 容	総事業費	補助金額	誠農海部(株)	水田の乾田化システム設置工事 (久美浜町品田地区内 ほ場)	5,312千円
事業実施主体	内 容	総事業費	補助金額									
誠農海部(株)	水田の乾田化システム設置工事 (久美浜町品田地区内 ほ場)	5,312千円	2,919千円									
主な財源	府補 集落営農発展型産地づくり事業費補助金 (1/2以内)			2,654千円								
評価・課題等	<p>○担い手が不足する地域をけん引する集落営農組織等への支援により、営農継続につながる体制強化が図れた。</p> <p>○補助要件である「京カ農場プラン」の策定段階から集落営農組織等の事業内容、役割等を明確にする必要がある。</p>											
事業所管課	農林水産環境部／農政課											

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	01経営体育成基盤整備事業
細事業名	02 経営体育成促進事業			決算書 P.228
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
704千円	710千円	6千円	99.1 %	710千円
目的	営農組織（法人）の設立、土地利用調整、法人の経営研修等を支援し、経営体育成基盤整備事業（森本地区）完了後の適正な農業経営を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域農業の担い手となる法人に対して、土地利用調整、法人経営研修を行った。また適正施肥に必要な土壌分析を行った。</p> <p>○経営体育成促進事業 704千円</p> <p>〈会議開催回数〉 農地集団化調整14回、農地流動化調整15回、事業推進検討会7回、生産組織育成強化37回、農業機械利用再編2回</p> <p>〈先進地視察〉 運転手2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視察先：山口県山口市（農事組合法人二島西） ・平成26年3月7日（土）～8日（日）、9名参加 （地区役員6名、府農業改良普及センター職員1名、市職員2名） ・水田地下水水位制御システム（フォアス）導入、先進組織活動研修 <ul style="list-style-type: none"> ・旅費（視察研修） 106千円 ・消耗品費 73千円 ・土壌分析委託料 328千円 ・先進地視察バス借上料 197千円 			
主な財源	分担金	経営体育成促進事業分担金（1/10）		70千円
	府補	経営体育成促進事業補助金（8/10）		560千円
評価・課題等	○農業法人への農地集積を進めるとともに、土地利用に係る研修を行い、地域農業の推進体制の強化を図ることができた。 ○農地の利用調整を進めるとともに、主力となる水稻の高品質化、米の生産調整に伴う転作作物の収益向上に効果があった。			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	01水田農業振興推進事業	
細事業名	01 水田農業振興推進事業			決算書	P.220
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
15,451千円	15,456千円	5千円	99.9%	18,064千円	
目的	経営所得安定対策の円滑な推進を図るとともに、安全・安心で美味しい米づくりによる水田農業の振興を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>水田農業の振興を図るため、経営所得安定対策を推進するとともに、売れる米づくり推進のため、特別栽培米と良質米生産への取組を支援した。</p> <p>○水田農業振興補助金（特別栽培米団地化推進） 5,250千円 ・栽培面積1ha以上 2,097,056㎡×2,504円/10a 5,250千円</p> <p>○日本一の特A産地づくり推進事業費補助金 517千円 ・京たんご花野果クラブ 102千円（土壌診断、葉緑素計） ・切畑農家組合 46千円（土壌診断、積算温度計） ・甲山良食味米生産組合 159千円（土壌診断、葉緑素計、積算温度計） ・農事組合法人田吾作 112千円（葉緑素計） ・米土クラブ 98千円（土壌診断、葉緑素計計）</p> <p>○数量調整円滑化推進事業の円滑な推進に係る経費 684千円 ・臨時職員賃金（3人） 547千円（臨時職員賃金等） ・需用費 137千円（消耗品費）</p> <p>○経営所得安定対策の推進に係る経費 9,000千円 ・謝金 1,469千円（事業推進、現地確認謝金） ・旅費 41千円（職員旅費） ・事務等経費 7,490千円（臨時職員3人、消耗品等）</p>				
主な財源	府補	数量円滑化推進事業費補助金（10/10）		684千円	
	府補	戸別所得補償制度推進事業費補助金（10/10）		9,000千円	
	府補	未来づくり交付金（水田農業振興推進事業）		2,000千円	
評価・課題等	<p>○経営所得安定対策への加入推進と交付金の受領のための事務を行い、多くの農家が安心して農業経営を行うことができた。</p> <p>○特別栽培米に対する団地化助成により、同一の作付方法での集団化が行われ、特別栽培米の質の向上につながった。</p> <p>○農家の経営安定と米の需給調整につながる経営安定対策（旧農業者戸別所得補償制度）に多くの農家の加入推進を行う必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	03京の水田農業総合対策事業	
細事業名	01 京の米産地づくり事業			決算書 P.220	
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
3,314千円	3,314千円	0千円	100.0%	0千円	
目的	特別栽培米等の生産に必要な農業用機械等を導入する農業者で組織する団体、農業生産法人等を支援し、売れる米づくりを進める。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○京の米産地づくり事業補助金 3,314千円				
	(単位：千円)				
	事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額	備考
	農事組合法人 田吾作	乗用コンバイン1台	5,565	2,504	久美浜町布袋野地内
	岩木宮農組合	遠赤外線乾燥機1台	1,800	810	丹後町岩木地内
	合計		7,365	3,314	
主な財源	府補 京の米産地づくり事業費補助金 (4/10)			2,946千円	
評価・課題等	<p>○特別栽培米用機械の整備により、刈り取り作業及び出荷作業の効率化が図られ、早期出荷による有利な販売につなげることができた。</p> <p>○特別栽培米の拡大には農地の団地化と営農者の組織化が重要なため、今後、集落単位での取り組みを広げていく必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	02中山間地域等直接支払制度事業																																
細事業名	01 中山間地域等直接支払制度事業			決算書 P.216																																
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																
67,074千円	67,076千円	2千円	99.9%	65,578千円																																
目的	中山間地域等において、農業生産活動等の維持を通じて耕作放棄の発生を防止し、農業・農地の多面的機能を確保する取組を支援する。																																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>耕作放棄地の増加等に伴う農業・農地の多面的機能の低下が特に懸念される中山間地域等において、農業生産活動等の維持を通じて、耕作放棄の発生を防止し、多面的機能を確保する観点から、農振農用地区域内の1ha以上の農地を対象とした5か年（平成22年度～26年度）の協定を基に、中山間地域等に直接交付金を支払った。</p> <p>○中山間地域等直接支払制度推進事業 545千円 本制度の定着に向けて行う推進事務、協定農用地農業生産活動等の実施についての確認事務、直接支払交付金の交付事務経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進事務 391千円 ・確認事務 128千円 ・交付事務 26千円 <p>○中山間地域等直接支払制度事業補助金 66,529千円 集落協定及び個別協定を締結し、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対し、その経費について交付金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>集落協定</th> <th>個人協定</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>5,422千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>9,882千円</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>688千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>9,117千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>6,873千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>34,547千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>45</td> <td>1</td> <td>66,529千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	集落協定	個人協定	交付額	峰山町	4	0	5,422千円	大宮町	6	0	9,882千円	網野町	0	1	688千円	丹後町	9	0	9,117千円	弥栄町	3	0	6,873千円	久美浜町	23	0	34,547千円	合計	45	1	66,529千円
区分	集落協定	個人協定	交付額																																	
峰山町	4	0	5,422千円																																	
大宮町	6	0	9,882千円																																	
網野町	0	1	688千円																																	
丹後町	9	0	9,117千円																																	
弥栄町	3	0	6,873千円																																	
久美浜町	23	0	34,547千円																																	
合計	45	1	66,529千円																																	
主な財源	府補 中山間地域等直接支払制度事業補助金 (3/4)			49,897千円																																
	府補 中山間地域等直接支払制度推進事業補助金 (10/10)			541千円																																
評価・課題等	<p>○農業生産条件が不利な中山間地の傾斜のある農地を維持管理する集落等において、交付金を活用した共同取組活動等により、耕作放棄地の発生を防止することができた。</p> <p>○中山間地域の維持を図るため、新規就農者や担い手を確保する必要がある。</p>																																			
事業所管課	農林水産環境部／農政課																																			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	02国営開発農地維持管理事業																																				
細事業名	01 国営丹後土地改良事業負担金			決算書 P.224																																				
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																				
15,187千円	15,188千円	1千円	99.9%	15,188千円																																				
目的	国営土地改良事業に係る市及び受益者の負担金を規定償還と繰上償還により国に支払う。 また、国営開発農地内の市有農地に係る賦課金を土地改良区に支払う。																																							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>国営土地改良事業負担金を、規定償還と繰上償還により行い、負担軽減を図った。 また、国営開発事業で整備された施設の維持管理が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国営丹後土地改良事業負担金 15,103千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>市負担金</th> <th>受益者負担金</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規定償還額</td> <td>0千円</td> <td>11,756千円</td> <td>11,756千円</td> </tr> <tr> <td>繰上償還額</td> <td>0千円</td> <td>3,347千円</td> <td>3,347千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0千円</td> <td>15,103千円</td> <td>15,103千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※市負担金は、平成24年度で償還済</p> 丹後土地改良区賦課金 84千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>町名</th> <th>団地名</th> <th>面積</th> <th>賦課金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮町</td> <td>三坂団地・大野団地</td> <td>97.3a</td> <td>19千円</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>郷団地</td> <td>10.0a</td> <td>2千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>芋野団地・木橋2団地</td> <td>313.1a</td> <td>63千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>420.4a</td> <td>84千円</td> </tr> </tbody> </table> 					市負担金	受益者負担金	計	規定償還額	0千円	11,756千円	11,756千円	繰上償還額	0千円	3,347千円	3,347千円	計	0千円	15,103千円	15,103千円	町名	団地名	面積	賦課金額	大宮町	三坂団地・大野団地	97.3a	19千円	網野町	郷団地	10.0a	2千円	弥栄町	芋野団地・木橋2団地	313.1a	63千円	計		420.4a	84千円
	市負担金	受益者負担金	計																																					
規定償還額	0千円	11,756千円	11,756千円																																					
繰上償還額	0千円	3,347千円	3,347千円																																					
計	0千円	15,103千円	15,103千円																																					
町名	団地名	面積	賦課金額																																					
大宮町	三坂団地・大野団地	97.3a	19千円																																					
網野町	郷団地	10.0a	2千円																																					
弥栄町	芋野団地・木橋2団地	313.1a	63千円																																					
計		420.4a	84千円																																					
主な財源	負担金 国営農地開発事業負担金 4,844千円 負担金 国営農地開発事業負担金滞納繰越分 3,381千円																																							
評価・課題等	○負担金の繰上償還を行うことにより、負担軽減が図られた。 ○滞納繰越金について、滞納者から債務承認及び納付誓約書の取得等により、滞納解消を図っていく必要がある。																																							
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課																																							

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	05農業基盤整備促進事業
細事業名	01 農業基盤整備促進事業			決算書 P.228
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
23,000千円	23,000千円	0千円	100.0%	0千円
目的	<p>国営団地における農作物の高付加価値化・品質向上等に取り組む上で経年劣化等により支障となる農業用施設等の改修を行い、経営規模拡大や戦略作物生産の促進を図る。</p>			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>府営事業として内記団地、芋野団地の法面排水施設改修及び内記団地沈砂池の浚渫、また各団地の揚水ポンプの交換を行った。</p> <p>○府営国営団地整備事業負担金 23,000千円</p> <p>・府営事業負担金</p> <p>市負担金 115,000千円 × 20% = 23,000千円</p>			
主な財源	市債 農業基盤整備促進負担金事業債（公共事業等債）			23,000千円
評価・課題等	<p>○国営団地の老朽化した施設の改修や更新を行うことができ、経営の安定、拡大を図る素地を整えることができた。</p> <p>○多くの要望があるため、計画的に整備を進めていく必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	02茶生産特別支援事業
細事業名	02 優良茶園振興事業			決算書 P.212
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,843千円	5,843千円	0千円	100.0%	6,938千円
目的	お茶の一大産地化を目指し、茶園の拡大、機械の導入等による省力化を進め、茶生産の振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	作業の省力化と品質向上のための機械導入について支援を行うとともに、雪害対策として茶園の樹勢回復に係る経費についても支援を行った。			
	○茶生産振興対策事業費補助金		5,843千円	
	(単位：千円)			
	事業実施主体	事業名	総事業費	補助金額
	京丹後製茶株式会社	茶園環境改善事業 (雪害回避システム 一式)	5,668	2,783
	京丹後製茶株式会社	共同製茶等省力化推進事業 (乗用式摘採機 1台)	6,121	3,060
	合	計	11,789	5,843
主な財源	府補 茶業振興対策費補助金 (4/10)			4,675千円
評価・課題等	○機械導入により作業の効率化と省力化が図れた。また、雪害被害を軽減するための資材を購入し、平成25年度冬季に施用して茶の品質維持を図った。 ○平成25年度は、平成23年度及び平成24年度の雪害被害による樹勢の低下と、平成25年度の春先の雹、低温少雨の影響により、生産量が大きく減少した。平成26年度に向けては、土づくりと施肥による樹勢回復を図る必要がある。			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	07畜産業費	50畜産振興一般経費
細事業名	01 畜産振興一般経費			決算書 P.220
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
45千円	46千円	1千円	97.8%	46千円
目的	畜産行政事務及び畜産振興の円滑な推進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>飼育状況調査の実施並びに家畜防疫に必要な事務を実施した。</p> <p>○畜産振興の円滑な推進に係る経費 15千円 職員旅費（京都府口蹄疫防疫演習）、消耗品費</p> <p>○京都府畜産振興協会会費 30千円</p>			
主な財源	府委	家畜伝染病予防事務委託金		7千円
評価・課題等	畜産行政事務及び畜産振興の円滑な推進が図れた。			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	19農業等再生緊急支援対策事業
細事業名	01 農業等再生緊急支援対策事業			決算書 P.216
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,100千円	1,100千円	0千円	100.0%	0千円
目的	台風18号で被害を受けた農作物の産地において、生産団体が行う作物再生に要する施肥、防除剤等の費用を支援し、生産性の維持を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	3戸以上の農家で組織する団体が行う再生産に向けての取り組み（土壌改良剤・肥料の投入、被害作物の防除、種子の蒔き直し等）に対して支援を行った。			
	○農業等再生緊急支援対策補助金 1,100千円 (単位：千円)			
	事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額 備考
	丹後町そ菜採種部会	採種甘藍、採種大根追加施肥、防除一式	13千円	6千円
	丹後町堀川ごぼう部会	堀川ごぼう追加防除一式	6千円	2千円
	丹後町ブロッコリー部会	ブロッコリー追加施肥、防除一式	34千円	16千円
	丹後町施設園芸生産組合	みず菜蒔き直し種子、追加施肥、防除一式	76千円	37千円
	京丹後市茶生産組合	茶追加施肥一式	1,721千円	860千円 京丹後市内
	JA京都 丹後西利加工契約野菜部会	大カブ、長ダイコン追加施肥、防除一式	351千円	175千円 弥栄町内
	弥栄町施設園芸部会	みず菜蒔き直し種子、追加施肥、防除一式	10千円	4千円
主な財源	府補 農作物生産確保緊急対策事業補助金（1/2以内）			1,100千円
評価・課題等	台風被害を受けた農作物に必要な追加施肥、防除薬剤の散布を行った経費の一部を助成することで、農業者の負担軽減と産地における今後の生産確保が図れた。			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	02茶生産特別支援事業
細事業名	01 茶の極み塾支援事業			決算書 P.212
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
37千円	45千円	8千円	82.2 %	45千円
目的	京都府内の茶産地の1つとして、全国お茶まつり京都大会に協賛し、産地PRを図るとともに、茶商、全農京都茶市場との協議などを通して、本市の茶業振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>茶業振興に係る一般経費</p> <p>○普通旅費 5千円</p> <p>○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 2千円</p> <p>○負担金 30千円 第67回全国お茶まつり京都大会開催に係る協賛金</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国茶品評会 平成25年 8月27日～30日 宇治茶会館（宇治市） ・全国生産青年の集い 平成25年11月15日 宇治茶会館他 ・全国お茶まつり 平成25年11月16日～17日 宇治市文化センター他 			
主な財源				
評価・課題等	茶商や全農京都茶業市場との交流や協議を通じて産地PRを行うとともに、品質の向上と市況の把握を図ることができた。			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	03ブランド農産物育成支援事業	
細事業名	01パイプハウス整備事業			決算書	P.212
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
4,763千円	4,763千円	0千円	100.0%	0千円	
目的	パイプハウス等施設の整備を支援し、農産物のブランド化・生産性の向上等、京野菜の産地づくりを図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	丹後地域統一重点推進品目に位置付けられている九条ねぎの生産振興を図るため、パイプハウスの整備を支援し、産地の形成に取り組んだ。				
	○パイプハウス等整備事業費補助金		4,763千円		
	(単位：千円)				
	事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額	備考
	久美浜町九条ねぎ部会	パイプハウス整備 5棟	8,661	4,763	久美浜町内
主な財源	府補 ほんまもん京ブランド産地支援事業費補助金 (1/2)			4,330千円	
評価・課題等	<p>○丹後地域統一重点推進品目（九条ねぎ）の推進と市内農業団体の負担軽減を図り、経営と所得の安定に寄与した。</p> <p>○丹後地域統一重点推進品目の推進にあたっては、品質だけでなく量の確保・安定供給が必須であり、今後も引き続きJA等の協力を得ながら指導、対応を行う必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	03ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ農産物育成支援事業											
細事業名	02 集出荷貯蔵調整機械・施設整備事業			決算書	P.212										
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興										
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額											
714千円	714千円	0千円	100.0%	0千円											
目的	農業法人が主に国営農地で生産した農作物の集出荷貯蔵施設・設備整備等に対して支援することにより、産地の形成を図る。														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>丹後地域統一重点推進品目に位置付けられている小菊の生産振興を図るため、花卉自動選別機を導入した。</p> <p>○生産・流通改善条件整備補助金 714千円</p> <p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>総事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弥栄町小菊部会</td> <td>花卉自動選別機 1台</td> <td>1,430</td> <td>714</td> <td>弥栄町内</td> </tr> </tbody> </table>					事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額	備考	弥栄町小菊部会	花卉自動選別機 1台	1,430	714	弥栄町内
	事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額	備考										
弥栄町小菊部会	花卉自動選別機 1台	1,430	714	弥栄町内											
主な財源	府補 ほんまもん京ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ産地支援事業費補助金 (45%)				643千円										
評価・課題等	<p>○丹後地域統一重点推進品目(小菊)の栽培を新規に取り組む組織のために選花機を導入し、出荷作業の効率化を図り、産地形成の一助となった。</p> <p>○丹後地域統一重点推進品目の推進については、引き続きJA等の協力を得ながら指導、対応を行い、品質、面積の確保と組織化を進めていく必要がある。</p>														
事業所管課	農林水産環境部／農政課														

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	06農業法人誘致対策事業
細事業名	02 食品関連企業参入促進事業			決算書 P.216
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
219千円	219千円	0千円	100.0%	685千円
目的	<p>農業者との契約栽培に取り組み、農業経営体を育成する機能を持つ食品関連企業に対し支援を行うことで、市内農産物の加工を促進し、地域雇用の拡大及び農家の所得向上を図る。</p>			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>食品関連企業に対し、農産物加工事業の礎となる拠点整備に係る支援を行った。</p> <p>○食品関連企業参入促進事業補助金 219千円</p> <p>事業主体：株式会社アグリテック丹後（大宮町周枳）</p> <p>事業内容：タマネギ生産機材（育苗プラント、移植機）</p> <p>事業費：4,399千円</p> <p>※別途、府より直接補助 989千円（補助率22.5%）</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>タマネギ生産に取り組む法人の機械導入に係る支援を行い、育苗から移植までの作業の効率化が図られ、生産拡大に向けた体制づくりにつながった。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	09農産物流通対策事業																
細事業名	01 農産物流通対策事業			決算書 P.218																
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																
938千円	958千円	20千円	97.9%	958千円																
目的	京丹後の顔が見える流通を進めるため、地産地消、地産都消、輸出等の新たな取組に対して支援し、販路拡大と農業者等の所得向上を図る。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市農産物流通戦略推進会議を開催し、京丹後産農産物のブランド化の検討や市内生産者及び栽培されている農産物の情報発信の手法などについて検討を行った。また、新たな流通を生み出す取組に対して補助金を交付し、市内農産物の販路拡大を図った。</p> <p>○流通戦略推進会議活動経費 338千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会講師謝金 19千円 費用弁償 57千円 旅費 2千円 需用費（丹後産コシヒカリPR用のぼり旗作成150本） 260千円 <p>＜活動実績＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 農産物流通戦略推進会議開催 4回 農産物の輸出に関する講演会 開催日：平成26年3月27日 会場：京丹後市役所大宮庁舎 内容：「丹後産農産物の輸出の可能性について」講演会 参加者：約30人 <p>○農産物流通対策事業補助金 600千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>総事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産直組合「京たんご」</td> <td>農産物のPR経費など (販促チラシ、ラベル、PR幕など)</td> <td>526千円</td> <td>300千円</td> </tr> <tr> <td>袖志棚田保存会</td> <td>地域ブランド米PR経費 (パンフレット作成費)</td> <td>201千円</td> <td>134千円</td> </tr> <tr> <td>流通組合</td> <td>農産物の輸出経費 (打ち合わせ経費など)</td> <td>269千円</td> <td>166千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額	産直組合「京たんご」	農産物のPR経費など (販促チラシ、ラベル、PR幕など)	526千円	300千円	袖志棚田保存会	地域ブランド米PR経費 (パンフレット作成費)	201千円	134千円	流通組合	農産物の輸出経費 (打ち合わせ経費など)	269千円	166千円
	事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額																
産直組合「京たんご」	農産物のPR経費など (販促チラシ、ラベル、PR幕など)	526千円	300千円																	
袖志棚田保存会	地域ブランド米PR経費 (パンフレット作成費)	201千円	134千円																	
流通組合	農産物の輸出経費 (打ち合わせ経費など)	269千円	166千円																	
主な財源																				
評価・課題等	<p>○新たな流通を生み出すことに対する経費の支援を行うことにより、農家の積極的な挑戦を後押しすることができた。また、新たな販路が開拓され、農家の経営と所得の向上を図り、京丹後市のPRにもつながった。</p> <p>○関係機関等で取組グループの情報共有を進めるとともに、流通の拡大を図るため、さらに補助事業の活用についてこれまで以上にPRを行う必要がある。</p>																			
事業所管課	農林水産環境部／農政課																			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	01アグリセンター-管理運営事業																								
細事業名	01 アグリセンター-管理運営事業			決算書 P.222																								
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																								
6,757千円	6,846千円	89千円	98.6 %	7,455千円																								
目的	アグリセンター大宮の維持管理及び運営を行い、市内の農業関係者や農村地域のリーダー育成及び市民福祉の向上に寄与する。																											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市内の農業関係者の知識・技術習得及び農村地域のリーダー人材育成に係る研修や講演の会場として、さらに教育・福祉・産業に関する各種会議への活用により、地域農林業の振興並びに地域福祉の増進が図れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 3,292千円 消耗品費、ガス代・灯油代、電気・上下水道料金、修繕料（排煙窓、空調機フィルター、消防設備等） ○役務費 通信運搬費、火災保険料 53千円 ○委託料 2,825千円 施設清掃、空調設備保守点検、消防設備等保守点検、エレベーター保守管理、自動ドア保守点検、アグリセンター管理、設備保守管理、移動観覧席点検、害虫駆除、特殊建築物・設備定期報告業務 ○使用料及び賃借料 テレビ受信料、清掃用具借上料 45千円 ○備品購入費 事務室空調設備、マイクスタンド 542千円 <p>(参考) 利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>利用件数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業技術研修室</td> <td>256件</td> <td>2,965人</td> </tr> <tr> <td>視聴覚教育室</td> <td>257件</td> <td>5,243人</td> </tr> <tr> <td>地域活性化研修室</td> <td>209件</td> <td>2,520人</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール（エントランス含む）</td> <td>245件</td> <td>12,292人</td> </tr> <tr> <td>調理加工実習室</td> <td>65件</td> <td>779人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,032件</td> <td>23,799人</td> </tr> <tr> <td>農業文献等教養学習室（大宮図書館）</td> <td>54,643冊</td> <td>9,453人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※農業文献等教養学習室の利用件数は、図書貸し出し冊数</p>				区 分	利用件数	利用人数	農業技術研修室	256件	2,965人	視聴覚教育室	257件	5,243人	地域活性化研修室	209件	2,520人	多目的ホール（エントランス含む）	245件	12,292人	調理加工実習室	65件	779人	合 計	1,032件	23,799人	農業文献等教養学習室（大宮図書館）	54,643冊	9,453人
区 分	利用件数	利用人数																										
農業技術研修室	256件	2,965人																										
視聴覚教育室	257件	5,243人																										
地域活性化研修室	209件	2,520人																										
多目的ホール（エントランス含む）	245件	12,292人																										
調理加工実習室	65件	779人																										
合 計	1,032件	23,799人																										
農業文献等教養学習室（大宮図書館）	54,643冊	9,453人																										
主な財源	使用料 公有財産使用料	153千円																										
	使用料 アグリセンター使用料	1,419千円																										
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○農林業の振興に係る研修会及び講演会の会場として活用できた。 ○農林分野だけでなく、福祉や教育など幅広い分野で施設利用が図られた。 ○築18年を経過する中で設備や機材の老朽化が目立つようになっているため、計画的な修繕を実施するなど適切な施設管理を行う必要がある。 																											
事業所管課	農林水産環境部／農政課																											

予算科目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	02農業関連施設管理運営事業
細事業名	01 農業関連施設管理運営事業			決算書 P.222
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,204千円	10,233千円	29千円	99.7%	10,073千円
目的	農業関連施設及び弥栄農家用貸付住宅等の適切な維持管理を行うことにより、農業施策を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農業関連指定管理施設（3施設）、京丹後市弥栄農家用貸付住宅（4棟）、弥栄都市農村交流施設を適切に管理したほか、これらを含む農業関連施設（29施設）の火災保険に加入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業関連施設火災保険料（29施設） 170千円 ○弥栄都市農村交流実践施設（もんやこ）維持管理 125千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防設備等点検委託料 19千円 ・浄化槽維持管理委託料 57千円 ・維持管理経費（消耗品費、光熱水費） 39千円 ・修繕料（浄化槽ブローア） 10千円 ○久美浜総合交流販売施設（くみはまSANKAIKAN）維持管理 3,685千円 <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場用地借上料（2,724㎡） 379千円 ・冷凍・冷蔵ショーケース更新（2台） 1,072千円 ・POSシステム更新 1,352千円 ・売店用空調設備修繕工事 882千円 ○大宮農産物加工直売施設（畔蔵）維持管理 5,999千円 <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道接続等工事 4,984千円 ・設計監理委託料 767千円 ・その他経費 248千円 <p>（便槽高圧洗浄・消毒委託料、上下水道加入分担金、設計審査手数料等）</p> ○弥栄農家用貸付住宅維持管理 195千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕 3号住宅（床板、ふすま等修繕） 184千円 4号住宅（エアコン修繕） 11千円 ○近畿「道の駅」連絡会会費（平成25年度分） 30千円 			
主な財源	使用料 貸付農家住宅使用料			1,152千円
評価・課題等	<p>○農業関連施設及び弥栄農家用貸付住宅等の維持管理を行い、多くの使用者に適切に使用してもらうことができた。</p> <p>○建築後年数が大分経過した建物もあることから利用者に安全な施設として活用されるよう、修繕及び適切な施設管理を行う必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	06里の基盤整備事業
細事業名	01 里の生活環境基盤整備事業			決算書 P.226
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
76,942千円	76,995千円	53千円	99.9%	100,440千円
目的	過疎・高齢化が進む農村地域において複数集落による「地域連携組織」の設立・地域活動を支援し、住民主体による農村地域の活性化と地域住民の安心・安全の確保を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	複数の集落が連携・協力して策定した「里力再生計画」に基づき、生活環境基盤施設などの修繕・改修を行うとともに、地域の取組に補助金を交付した。			
	【弥栄町野間地域】			17,800千円
	・工事請負費			2,107千円
	市道来見谷小金山線、野中地内水道管理道路維持			
	・補助金			15,693千円
	ガラシャ荘改修工事（内外装の修繕、屋根改修、浄化槽設置工事等）			
	【大宮町大宮南地域】			31,577千円
	・測量設計委託料（奥大野）			3,428千円
	・工事請負費			20,639千円
	市道正垣線・梅ヶ谷口線道路改良、井根場用水路修繕			
常林寺下農道舗装、六地藏水門設置、市道岩屋寺道路修繕				
・補助金			7,510千円	
三坂地藏堂前広場舗装、下常吉公民館修繕、下常吉防犯灯設置				
奥大野区防災倉庫改修、市道五反田線防犯灯設置、谷内公民館改修				
【久美浜町佐濃地域】			27,565千円	
・消耗品費（坂谷） 側溝蓋鉄板設置			126千円	
・測量設計委託料（長野、竹藤）			2,044千円	
・工事請負費			23,244千円	
市道佐野竹藤線待避所新設、市道二俣森ヒロノ線ガードレール設置				
丸山水路整備、市道長野三原線道路改良、野中防火水槽設置				
・補助金			2,151千円	
永留公民館改修（トイレ改修工事）				
主な財源	分担金	里の基盤整備事業分担金	254千円	
	府補	里の基盤整備事業費補助金（2/3以内）	52,828千円	
	市債	小規模基盤整備事業債（地域活性化事業債）	200千円	
	市債	道路改良事業債（合併特例債）	12,800千円	
	市債	消防防災施設整備事業債（過疎対策債）	2,100千円	
評価・課題等	○過疎・高齢化・後継者不足など課題を抱える地域において、住民主体でつくる「地域連携組織」が策定した「里力再生計画」に基づき生活環境基盤整備・格納庫等の改修を行い、大雨などによる災害時の安心・安全の基盤づくりができた。			
	○「里力再生計画」は地域の10年先を見越した計画であるが、補助事業終了後においても地域活性化活動の継続が図れるよう助言等、継続した支援が必要である。			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	06里の基盤整備事業	
細事業名	03 里の地域活力再生事業			決算書	P.226
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
3,726千円	3,726千円	0千円	100.0%	0千円	
目的	「里力再生計画」を策定した地域において、地域が自ら設計・運営する生活交通や移住促進事業など、多様な地域課題を解決する事業の実践展開を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>複数の集落が連携・協力して策定した「里力再生計画」地域が、計画を基に事業を展開していく上で、里の基盤整備事業の事業期間（計画策定年度から3年間）完了後の地域課題に対応するため、地域に対し補助金を交付した。</p> <p>○里の基盤整備事業（里の地域活力再生事業） 【久美浜町神野地域】 3,726千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 <ul style="list-style-type: none"> 農産物加工施設改修工事（旧神野保育所） 3,726千円 総事業費：4,300千円 改修工事：土間コンクリート打、配管・電気・ガス工事、屋内給排水工事 耐震補強工事等 機器設置工事：シンク、空調機、サッシ 				
主な財源	府補 里の基盤整備事業費補助金（2/3以内）			2,866千円	
評価・課題等	<p>○過疎・高齢化・後継者不足など課題を抱える地域において、住民主体でつくる「地域連携組織」が策定した「里力再生計画」に基づき地域活性化を推進するための拠点施設の改修整備を行い、産業及び雇用の基盤づくりができた。</p> <p>○「里力再生計画」は地域の10年先を見越した計画であるが、補助事業終了後においても地域活性化活動の継続が図れるよう助言等、継続した支援が必要である。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業	
細事業名	01 元気な農村地域づくり事業			決算書	P.214
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
2,641千円	2,641千円	0千円	100.0%	2,913千円	
目的	農業への理解を深め、展示や直販による地産地消の啓発及び地域活性化を図る。また、都市部での京丹後産農産物の販売・宣伝活動等により販路開拓・拡大を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	市内の農業イベントを通して、市内外の消費者に対し京丹後産農作物と農業・農村の活力をPRする取組を支援した。また、都市部の農業イベントへ参加し、京丹後産農産物を販売して販路開拓と広報活動を行う農業団体等を支援した。				
	○元気な農村地域づくりイベント事業補助金 2,602千円 (単位：千円)				
	地域	イベント名	開催日	事業費	補助金額
	大宮町	パンプキンフェスタ	9月9日(日)	235	230
	久美浜町	まるかじりまつり	10月20日(日)	1,778	1,350
	丹後町	丹後秋の祭典※	11月4日(月・祝)	552	528
	弥栄町	弥栄秋の祭典	11月4日(月・祝)	528	494
	合計			3,093	2,602
	※ 丹後秋の祭典及び弥栄秋の祭典は合同開催				
	○旅費及び使用料 39千円 都市部のイベントに出展する農業者及び農業団体を支援するための職員参加経費				
・摂津市農業祭(職員：2人) 7千円 日時：平成25年11月9日(土) 場所：摂津市役所駐車場 参加：2団体					
・京都府農林水産フェスティバル(職員：2人) 32千円 日時：平成25年11月30日(土)、12月1日(日) 場所：京都府総合見本市会館(パルスプラザ) 参加：16団体					
主な財源					
評価・課題等	○市内4つのイベントを通して、地域特有の農産物や農村地域の魅力を発信できた。また、市外イベントに参加する団体等を支援することで、京丹後市農産物のPRや都市農村交流を図ることができた。 ○市内の農業イベントについて、事業目的効果を検証し、より効果を高める事業内容や運営方法等を検討する必要がある。				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業	
細事業名	02 都市農村共生・対流総合対策事業			決算書	P.214
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
4,000千円	4,000千円	0千円	100.0%	0千円	
目的	活力と魅力ある地域づくりを推進する団体に対し、都市農村共生・対流総合対策事業資金を一時的に貸し付け、当該団体等の活動の促進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	農林水産省の「都市農村共生・対流総合対策事業」の採択を受けて、地域活性化に取り組む「久美浜まるごとプロデュース協議会」へ事業資金を一時的に貸し付け、久美浜地域の元気で魅力ある地域づくりを財政的に支援した。				
	<p>○都市農村共生・対流総合対策事業資金貸付金 4,000千円</p> <p>久美浜まるごとプロデュース協議会の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■総事業費 5,897千円 ■事業期間 平成25年9月10日～平成26年3月31日 ■主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ①農産物の販路開拓と体験ツアーの検討 4,477千円 <ul style="list-style-type: none"> ・調査検討委託費 2,788千円 ・事業実施にかかる事務補佐賃金、旅費他 591千円 ・マルシェ実施、体験ツアー開催、視察研修費 678千円 ・久美浜版GAP研究会、体験ツアー研究会専門家報酬 420千円 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※GAPとは、農業生産工程管理のことで、安心・安全な農産物を担保する久美浜版GAPにより久美浜の農産物のブランド化をすすめるための研究会</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ②人材活用 1,420千円 <ul style="list-style-type: none"> ・研修生人件費、研修生指導賃金、研修旅費、販路開拓随同行旅費、自動車借上料他 				
主な財源					
評価・課題等	久美浜まるごとプロデュース協議会を支援することで、久美浜地域の活性化に寄与することができた。				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	12里の人づくり事業	
細事業名	01 里の人づくり事業			決算書	P.214
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
9,000千円	9,000千円	0千円	100.0%	9,000千円	
目的	過疎・高齢化が進む農村地域において里力再生推進委員や住民団体が構成する「地域連携組織」が取り組む再生計画づくりや活動を支援し農村地域の再生を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>過疎・高齢化が進む農村地域の複数集落による「地域連携組織」が実施する里力再生計画の策定や活動を支援し、過疎・高齢化の進んだ農村地域の取り組みに補助金を交付した。</p> <p>○里の人づくり事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野間地域（3か年事業のうち3年目） 1,500千円 里力再生計画に基づき、地元農産物の直売所を毎週日曜に開設し、地元加工女性グループにより加工品（こんにゃく、味噌、漬物、菓子等）を開発・販売、案内看板作製・設置、地域づくり講演会等を開催した。 ・佐濃地域（3か年事業のうち2年目） 1,500千円 里力再生計画に基づき、高齢者のいこいサロン「スター」を週2回開設し、朝市の実施、クリーン作戦として環境保全活動を実施した。また少子化・定住化を目的とした婚活事業である若者交流事業「BBS」を開催した。 ・大宮南地域（3か年事業のうち2年目） 1,500千円 里力再生計画に基づき、花いっぱい運動の拡大、自主防災組織の新規発足、全地区の市地域づくり計画の策定、また都市部女性と地元男性による少子化・定住化を目的とした婚活事業「田舎コン」を開催した。 ・久美浜二区地域（3か年事業のうち1年目） 1,500千円 各戸にアンケートを配付し、意見集約を図り、話し合いを重ねて地域の実情を把握し、里力再生計画を策定した。その他、地域づくり講演会等を実施した。 ・海部地域（3か年事業のうち1年目） 1,500千円 各戸にアンケートを配付し、意見集約を図り、話し合いを重ねて地域の実情を把握し、里力再生計画を策定した。その他、朝市の拡充を図った。 ・三重・森本地域（3か年事業のうち1年目） 1,500千円 各戸にアンケートを配付し、意見集約を図り、話し合いを重ねて地域の実情を把握し、里力再生計画を策定した。その他、先進地視察研修等を実施した。 				
主な財源	府補	里の人づくり事業費補助金（1/2）			4,500千円
評価・課題等	<p>○過疎・高齢化が進む農村地域の複数集落が実施する事業であり、それぞれの集落の実情を住民主体で把握し、複数集落で話し合い活動を行うことで、現状の課題や将来像を見据えた計画を策定し、その計画に基づく活動を行うなど、住民自らが望む地域づくりの取組が図れた。</p> <p>○事業期間が終了した集落についても、現在でも集落間地域づくり活動を実施しており、活動の継続が図れるよう助言等の継続した支援が必要である。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	17明日の京都村づくり事業	
細事業名	01 明日の京都村づくり事業			決算書	P.214
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
110千円	110千円	0千円	100.0%	275千円	
目的	地域の实情に応じた「京都村づくりプラン」の策定と、あらゆる地域資源を活用した「一村一業」活動を支援することにより、地域の活性化を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>旧村等の集落及び集落連携体による「京都村づくりプラン」の策定や活動を支援し、農村地域の活性化を図る取組に対して補助金を交付した。</p> <p>○明日の京都村づくり事業補助金（事業費 210千円） 110千円</p> <p>・網野町掛津集落（3か年事業のうち1年目）</p> <p>「琴引浜や地域にある資源を保全しながら、これを活かした体験型観光や交流等のビジネスを育てる」ことを目的として「明日の掛津村プラン」を策定した。</p> <p>また、事務所を開設して事業実施体制の整備を行った。</p>				
主な財源	府補	明日の京都村づくり事業費補助金（1/2）			100千円
評価・課題等	<p>○プラン策定を支援し、地域の活性化に資することができた。</p> <p>○今後、地域資源を活かした体験型観光や交流等により、地域外貨を獲得するビジネスモデルを検討し、集落ぐるみでの活動へと展開していくことが必要である。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	03クラインガルテン管理運営事業
細事業名	01 クラインガルテン管理運営事業			決算書 P.224
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,342千円	2,372千円	30千円	98.7%	3,020千円
目的	蒲井・旭地域振興計画に基づき施設整備した施設の維持管理を行い、短期型から滞在型観光への転換を目指し、農村と都市との交流を深める中で農業振興と地域活性化に資する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農園付宿泊施設（ラウベ）及び周辺施設等の維持管理を行った。</p> <p>○需用費 632千円 消耗品費、除雪機・草刈り機燃料代、電気代、水道修繕料</p> <p>○役務費 106千円 交流会案内等郵送料、浄化槽法定検査料、ろ過ポンプ点検手数料、貯水槽等保守点検手数料、火災保険料</p> <p>○委託料 1,457千円 水質検査、浄化槽維持管理、施設ごみ運搬、クラインガルテン管理運営</p> <p>○使用料及び賃借料 147千円 土地借上料：3,475㎡</p> <p>〔クラインガルテン交流会の開催〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年7月6日 参加者11人 ・平成25年7月28日 住民祭り（蒲井・旭）参加者50人 			
主な財源	使用料 市民農園使用料	5,074千円		
評価・課題等	主に都市部からの使用者が滞在する宿泊施設及び共用部分の維持管理を実施したほか、7月には使用者と地元住民の交流会が実施され、地域間交流を図ることができた。			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	02農業総務費	50農業総務一般経費																																								
細事業名	01 農業総務一般経費			決算書 P.210																																								
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																																								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																								
6,686千円	6,855千円	169千円	97.5 %	3,598千円																																								
目的	農業行政を推進するための業務に必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出し、農業振興を図る。																																											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農業行政を推進するため必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出した。</p> <table border="0"> <tr> <td>農業総務一般経費</td> <td>6,686千円</td> </tr> <tr> <td>○報償費</td> <td>48千円</td> </tr> <tr> <td>○旅費</td> <td>269千円</td> </tr> <tr> <td>○需用費</td> <td>660千円</td> </tr> <tr> <td>事務消耗品、公用車燃料代、一般修繕等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○役務費</td> <td>165千円</td> </tr> <tr> <td>公用車廃車手数料、公用車保険料等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農業総合地図情報システム保守等委託料</td> <td>1,722千円</td> </tr> <tr> <td>事務補助業務人材派遣委託料(1人)</td> <td>1,734千円</td> </tr> <tr> <td>○使用料及び賃借料</td> <td>44千円</td> </tr> <tr> <td>有料道路通行料、駐車場使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○負担金、補助及び交付金</td> <td>310千円</td> </tr> <tr> <td>全国中山間地域振興対策協議会負担金、野菜等経営安定対策事業負担金、丹後米改良協会負担金ほか会費等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○補償補填及び賠償金</td> <td>123千円</td> </tr> <tr> <td>賠償金(峰山小学校前駐車場看板脱落による車両被害に係る賠償金)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○償還金利子及び割引料</td> <td>1,591千円</td> </tr> <tr> <td>過年度農地確保利用支援事業面的集積交付金返還金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○公課費</td> <td>20千円</td> </tr> <tr> <td>公用車重量税</td> <td></td> </tr> </table>				農業総務一般経費	6,686千円	○報償費	48千円	○旅費	269千円	○需用費	660千円	事務消耗品、公用車燃料代、一般修繕等		○役務費	165千円	公用車廃車手数料、公用車保険料等		○委託料		農業総合地図情報システム保守等委託料	1,722千円	事務補助業務人材派遣委託料(1人)	1,734千円	○使用料及び賃借料	44千円	有料道路通行料、駐車場使用料		○負担金、補助及び交付金	310千円	全国中山間地域振興対策協議会負担金、野菜等経営安定対策事業負担金、丹後米改良協会負担金ほか会費等		○補償補填及び賠償金	123千円	賠償金(峰山小学校前駐車場看板脱落による車両被害に係る賠償金)		○償還金利子及び割引料	1,591千円	過年度農地確保利用支援事業面的集積交付金返還金		○公課費	20千円	公用車重量税	
農業総務一般経費	6,686千円																																											
○報償費	48千円																																											
○旅費	269千円																																											
○需用費	660千円																																											
事務消耗品、公用車燃料代、一般修繕等																																												
○役務費	165千円																																											
公用車廃車手数料、公用車保険料等																																												
○委託料																																												
農業総合地図情報システム保守等委託料	1,722千円																																											
事務補助業務人材派遣委託料(1人)	1,734千円																																											
○使用料及び賃借料	44千円																																											
有料道路通行料、駐車場使用料																																												
○負担金、補助及び交付金	310千円																																											
全国中山間地域振興対策協議会負担金、野菜等経営安定対策事業負担金、丹後米改良協会負担金ほか会費等																																												
○補償補填及び賠償金	123千円																																											
賠償金(峰山小学校前駐車場看板脱落による車両被害に係る賠償金)																																												
○償還金利子及び割引料	1,591千円																																											
過年度農地確保利用支援事業面的集積交付金返還金																																												
○公課費	20千円																																											
公用車重量税																																												
主な財源	諸収入	総合賠償補償保険金	123千円																																									
	諸収入	野菜等経営安定対策事業負担金返還金	79千円																																									
	諸収入	過年度農地確保利用支援事業面的集積交付金返還金	1,591千円																																									
評価・課題等	<p>○農業行政の推進が適切に図れた。 ○公用車の老朽化が進み維持管理及び修理代が増加傾向にあるため、計画的な車両更新が必要である。</p>																																											
事業所管課	農林水産環境部／農政課																																											

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	01小規模基盤整備事業																								
細事業名	01 小規模土地改良事業補助金			決算書 P.224																								
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																								
2,150千円	2,150千円	0千円	100.0%	3,000千円																								
目的	農業用水路等の老朽化が進む中、地域の維持管理の効率的な取組を支援し、農地、農業用施設等の改良、維持、保全及び復旧を図る。																											
主要な事務・事業及び成果の概要	各地区及び農業団体が実施した小規模土地改良事業による施設の維持管理に対して、機械借上料、原材料費について補助金を交付した。																											
	・小規模土地改良事業補助金		2,150千円																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>箇所数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>2</td> <td>550千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>2</td> <td>297千円</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>8</td> <td>557千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>2</td> <td>362千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>0</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>2</td> <td>384千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16</td> <td>2,150千円</td> </tr> </tbody> </table>			地域	箇所数	補助金額	峰山町	2	550千円	大宮町	2	297千円	網野町	8	557千円	丹後町	2	362千円	弥栄町	0	0千円	久美浜町	2	384千円	合計	16	2,150千円	
地域	箇所数	補助金額																										
峰山町	2	550千円																										
大宮町	2	297千円																										
網野町	8	557千円																										
丹後町	2	362千円																										
弥栄町	0	0千円																										
久美浜町	2	384千円																										
合計	16	2,150千円																										
主な財源	府補	未来づくり交付金（小規模土地改良事業補助金）	1,000千円																									
評価・課題等	補助金を交付することにより、農地、農業用施設等の改良、維持、保全及び復旧が図られた。																											
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課																											

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	01小規模基盤整備事業
細事業名	02 小規模農業基盤整備事業			決算書 P.224
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
30,061千円	30,062千円	1千円	99.9%	7,000千円
目的	老朽化により機能が低下した土地改良施設等の小規模な改修、改良を行うことにより、農業生産性の向上と農業経営の安定を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	老朽化により機能が低下した土地改良施設の改修を行った。また、本市へのより一層の観光誘客を図るため、観光施設周辺の農道舗装等道路改良工事を行った。			
	○委託料		1,942千円	
	・ 網野 農道岡田1号線測量業務		1,942千円	
	○工事請負費		28,119千円	
	・ 網野 矢立水路改修工事		1,596千円	
	・ 大宮 河辺用水路改修工事		1,900千円	
	・ 網野 西垣岡用水路改修工事		1,890千円	
	・ 久美浜 佐野用水路改修工事		1,417千円	
	・ 弥栄 国久地区揚水施設設置工事		2,468千円	
	・ 網野 農道岡田1号線改良工事		5,250千円	
	・ 網野 農道岡田1号線舗装工事		7,823千円	
	・ 網野 農道岡田1号線改良工事その2		5,775千円	
主な財源	分担金	小規模基盤整備事業分担金		992千円
	市債	小規模基盤整備事業債（地域活性化事業債）		5,700千円
	繰入金	観光1万整備等促進実行調整費基金繰入金		20,790千円
評価・課題等	○機能が低下した土地改良施設の改修及び改良を行うことで、農業経営の安定と施設保全に資することができた。 ○土地改良施設の老朽化による改修要望が多くなっていることから、国や府の補助事業の活用に努め、効率的に実施していく必要がある。			
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	04農地・水保全管理支払交付金事業
細事業名	01 農地・水保全管理支払交付金事業			決算書 P.224
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
54,289千円	54,417千円	128千円	99.7%	54,317千円
目的	農地・農業用水等資源の保全管理活動への支援及び施設の長寿命化のための活動や高度な農地・水の保全活動等への支援により、地域主体の保全管理等の取組の強化・拡大を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>共同活動支援交付金106組織、向上活動支援交付金108組織の事業実施、実績報告作成等の支援及び、実績報告書、現地確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農地・水保全管理支払交付金事業活動推進費 1,907千円 <ul style="list-style-type: none"> 事業の推進及び実施状況確認事務 ・ 共済費（臨時職員社会保険料・雇用保険料） 139千円 ・ 賃金（臨時職員1人 賃金4月～7月・2月～3月） 796千円 ・ 旅費（普通旅費） 75千円 ・ 需用費（消耗品費・リース車燃料代） 505千円 ・ 役務費（リース車保険） 140千円 ・ 使用料及び賃借料 252千円 ○ 負担金、補助及び交付金 <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度農地・水保全管理支払交付金事業市負担金 52,382千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同活動支援事業 106組織（H24 105組織） 22,682千円 ・ 向上活動支援事業 108組織（H24 107組織） 29,700千円 			
主な財源	府補 繰入金	農地・水・農村環境保全共同活動等推進事務交付金 地域環境保全基金繰入金		1,861千円 5,000千円
評価・課題等	<p>○共同活動支援、向上活動支援とも1組織増となった。弥栄町野間地域においては、田中区だけの取組から、野間地域全域での取組となり、旧村単位での広域連携による取組に拡大した。これにより、過疎で人手不足の集落へ近隣からの応援が可能となり、地域共同による施設整備や環境保全の強化が図られた。</p> <p>○申請や実績報告に係る事務負担が多いため、高齢化が進み人材不足の地域には、特に事務研修の開催や個別相談の実施など、支援を強化する必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	05換地処理事業
細事業名	01 換地処理事業			決算書 P.226
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,452千円	1,461千円	9千円	99.3 %	1,461千円
目的	旧弥栄町のほ場整備工事完了後の換地処分未了地区及び農道整備事業等の分筆等の未了地区の登記事務を進め、現況と土地台帳との整合を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>吉野地区について換地処分を行い、現況と台帳の不整合を解消することができた。また、溝谷地区についても分筆等により現況と台帳の不整合を解消することができた。</p> <p>○委託料 1,452千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥栄町吉野地区 126千円 <ul style="list-style-type: none"> 換地業務委託料 105千円 図面作成業務委託料 21千円 ・弥栄町溝谷地区 1,326千円 <ul style="list-style-type: none"> 登記委託料（4筆） 1,326千円 			
主な財源				
評価・課題等	平成21年度から進めてきた旧弥栄町の登記未了地区の登記が完了し、現況と土地台帳の不整合を解消することができた。			
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	06里の基盤整備事業																			
細事業名	02 里の農業生産基盤整備事業			決算書 P.226																			
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																			
14,010千円	14,012千円	2千円	99.9%	21,581千円																			
目的	後継者不足や農地の荒廃など厳しい状況にある農村地域において、複数集落が連携・協力して生活環境や農業生産基盤を維持保全するための活動を支援し、農村地域の再生を図る。																						
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>劣化等している農道のアスファルト舗装や用水路のコンクリートによる補修や再布設、更新による改修を行った。また、直接地域が行う農業用水路や農道の補修に対して支援を行った。</p> <p>○工事請負費 13,596千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>工事内容</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">弥栄町 野間地域</td> <td>須川井堰補修工事 L=14.6m</td> <td>1,124千円</td> </tr> <tr> <td>中津用水路補修工事 L=51.6m</td> <td>1,541千円</td> </tr> <tr> <td>白滝農道舗装工事 L=266.0m</td> <td>3,517千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大宮町 大宮南地域</td> <td>左坂線農道舗装工事 L=467.0m</td> <td>3,706千円</td> </tr> <tr> <td>左坂池用水路補修 水路修繕1式</td> <td>11千円</td> </tr> <tr> <td>若宮寺ノ道線舗装工事 L=360.0m</td> <td>3,392千円</td> </tr> <tr> <td>国営アバタ用水路改修工事 L=6.0m</td> <td>305千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○原材料費（野間地域・大宮南地域） 302千円</p> <p>○需用費（事務用品、燃料費） 112千円</p>				地域	工事内容	金額	弥栄町 野間地域	須川井堰補修工事 L=14.6m	1,124千円	中津用水路補修工事 L=51.6m	1,541千円	白滝農道舗装工事 L=266.0m	3,517千円	大宮町 大宮南地域	左坂線農道舗装工事 L=467.0m	3,706千円	左坂池用水路補修 水路修繕1式	11千円	若宮寺ノ道線舗装工事 L=360.0m	3,392千円	国営アバタ用水路改修工事 L=6.0m	305千円
地域	工事内容	金額																					
弥栄町 野間地域	須川井堰補修工事 L=14.6m	1,124千円																					
	中津用水路補修工事 L=51.6m	1,541千円																					
	白滝農道舗装工事 L=266.0m	3,517千円																					
大宮町 大宮南地域	左坂線農道舗装工事 L=467.0m	3,706千円																					
	左坂池用水路補修 水路修繕1式	11千円																					
	若宮寺ノ道線舗装工事 L=360.0m	3,392千円																					
	国営アバタ用水路改修工事 L=6.0m	305千円																					
主な財源	分担金	里の基盤整備事業分担金	1,481千円																				
	府補	里の基盤整備事業費補助金（2/3）	9,340千円																				
	市債	小規模基盤整備事業債（地域活性化事業債）	2,200千円																				
評価・課題等	<p>○地域と協力して計画・実施することで、維持管理労力の低減と作業効率の改善が進み、地域の農業生産基盤の維持保全が図られた。</p> <p>○今後も地域と協力しながら農業用施設の改修を進めていく必要がある。</p>																						
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課																						

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	50農地一般経費
細事業名	01 農地一般経費			決算書 P.226
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,246千円	5,345千円	99千円	98.1 %	3,947千円
目的	農業農村整備事業を円滑に推進するための施設管理・研修・支援及び京都府土地改良事業団体連合会への負担金等の一般経費			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農業農村整備事業を円滑に進めるため、関係団体へ負担金・補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅費（会議・職員研修等） 68千円 ・ 需用費（参考図書・コピー代・燃料費等） 622千円 ・ 役務費（自動車損害保険料） 14千円 ・ 使用料及び賃借料（図面コピー機借上料等） 883千円 ・ 村前川防潮樋門電気代負担金 61千円 ・ 農道台帳管理負担金 53千円 ・ 京都府土地改良事業団体連合会賦課金 1,312千円 ・ 久住営農飲雑用水施設整備事業借入償還補助金 592千円 <ul style="list-style-type: none"> 平成9年度借入分 4,213千円 償還額 334千円 （平成34年度完了） 平成10年度借入分 3,248千円 償還額 258千円 （平成35年度完了） ・ 担い手育成支援事業補助金 41千円 <ul style="list-style-type: none"> 久美浜町出角地区 ほ場整備事業借入利子補給分（平成25年度完了） ・ 府営農業水利施設保全合理化事業分担金返還金 1,600千円 <ul style="list-style-type: none"> 京都府から平成24年度事業負担金4,000千円の返還金の内、 地元分担金の返還分 			
主な財源	諸収入 担い手育成支援事業助成金（補助金10/10）	41千円		
	諸収入 府営農業水利施設保全合理化事業負担金返還金	1,600千円		
評価・課題等	<p>○施設管理・支援事業を行うことで、農業農村整備事業を円滑に推進することができた。</p> <p>○地元区や農家の借入金に対して補助金を交付することで、負担軽減を図ることができた。</p> <p>○京都府の平成24年度農業水利施設保全合理化負担金事業（大宮町森本）中止に伴い、借り入れていた公共事業等債について、平成26年度に繰上償還を行う必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	01経営体育成基盤整備事業
細事業名	01 経営体育成基盤整備事業			決算書 P.228
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
13,532千円	13,537千円	5千円	99.9%	3,501千円
目的	大宮町森本地区において大区画のほ場整備を推進し、地域農業の再編と農用地の集団化、担い手育成等を総合的に実施し、農用地の効率的な利用と担い手の経営の安定化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>ほ場整備工事で完成した農地等の確定測量を行い、換地計画書を作成した。</p> <p>○府営経営体育成基盤整備事業負担金 9,406千円</p> <p>事業費 55,000千円</p> <p>市負担金 55,000千円×10%= 5,500千円</p> <p>地元負担金 55,000千円×7.5%= 3,906千円 (関西電力 219千円減免)</p> <p>○換地処理経費 4,126千円</p> <p>換地委員賃金(委員 11人) 340千円</p> <p>換地業務委託料(従前535筆,換地341筆) 3,786千円</p>			
主な財源	分担金	経営体育成基盤整備事業分担金		3,906千円
	府委	換地業務委託金		4,125千円
	市債	経営体育成基盤整備負担金事業債(公共事業等債)		4,900千円
評価・課題等	<p>○大区画のほ場整備により、事業の目的である農業生産法人等への農地の集積が進められ、効率的な農業経営が図られつつある。</p> <p>○平成26年度の換地処分・事業完了に向けての準備を整えることができた。</p>			
事業所管課	農林水産環境部/農林整備課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	04ため池等整備事業
細事業名	01 ため池等整備事業			決算書 P.228
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,500千円	10,500千円	0千円	100.0%	20,000千円
目的	洪水時において引上げ作業が不可能な丹後町大山堰を固定堰から自動倒伏の可動堰へ更新することで、治水及び防災上の危険防止を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京都府による井堰の扉体製作が行われた。</p> <p>○ため池等整備事業負担金 10,500千円</p> <p>事業費 70,000千円</p> <p>市負担金 70,000千円 × 12% = 8,400千円</p> <p>地元負担金 70,000千円 × 3% = 2,100千円</p>			
主な財源	分担金	ため池等整備事業分担金		2,100千円
	市債	ため池等整備負担金事業債（公共事業等債）		8,200千円
評価・課題等	<p>○製作期間が必要な扉体の製作を進めることができた。</p> <p>○操作室までの配管ルートについて、河川管理者との協議を重点的に進める必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	02土地改良施設維持管理適正化事業																																			
細事業名	01 土地改良施設維持管理適正化事業			決算書 P.228																																			
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																																			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																			
18,307千円	18,320千円	13千円	99.9 %	18,320千円																																			
目的	造成した土地改良施設維持管理適正化事業資金を基に、計画的に施設を整備し、老朽化した土地改良施設の適正な維持管理と農業経営の安定に資する。																																						
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>土地改良施設の適正な維持管理により、施設の長期有効利用と持続的な農業経営の安定を図るため、施設の診断指導を実施した。また、土地改良施設維持管理適正化事業加入地区の事業実施に必要な資金を賦課金として、京都府土地改良事業団体連合会に拠出した。加入地区の整備計画に基づき、施設の改修工事を実施し、延命化による長期有効利用を可能にした。</p> <p>○土地改良施設診断指導（8か所） 揚水機（網野 3か所、久美浜 4か所）、水路（久美浜 1か所）</p> <p>○工事請負費 14,017千円 弥栄町溝谷 五ノ坪水路改修工事</p> <p>○土地改良施設維持管理適正化事業賦課金（7地区） 4,290千円</p> <table border="0"> <tr> <td>網野町網野</td> <td>待谷川頭首工</td> <td>H21~25</td> <td>工事H23</td> <td>264千円</td> </tr> <tr> <td>網野町俵野</td> <td>俵野畑かん施設</td> <td>H22~26</td> <td>工事H26</td> <td>660千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町溝谷</td> <td>五ノ坪水路</td> <td>H23~27</td> <td>工事H25</td> <td>924千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町市場</td> <td>イカシマ揚水機場</td> <td>H23~27</td> <td>工事H23</td> <td>759千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町河辺</td> <td>茂手谷池</td> <td>H24~28</td> <td>工事H26</td> <td>627千円</td> </tr> <tr> <td>峰山町安</td> <td>岡谷池</td> <td>H24~28</td> <td>工事H26</td> <td>396千円</td> </tr> <tr> <td>網野町浜詰</td> <td>浜詰灌水施設</td> <td>H25~29</td> <td>工事H27</td> <td>660千円</td> </tr> </table>				網野町網野	待谷川頭首工	H21~25	工事H23	264千円	網野町俵野	俵野畑かん施設	H22~26	工事H26	660千円	弥栄町溝谷	五ノ坪水路	H23~27	工事H25	924千円	久美浜町市場	イカシマ揚水機場	H23~27	工事H23	759千円	大宮町河辺	茂手谷池	H24~28	工事H26	627千円	峰山町安	岡谷池	H24~28	工事H26	396千円	網野町浜詰	浜詰灌水施設	H25~29	工事H27	660千円
網野町網野	待谷川頭首工	H21~25	工事H23	264千円																																			
網野町俵野	俵野畑かん施設	H22~26	工事H26	660千円																																			
弥栄町溝谷	五ノ坪水路	H23~27	工事H25	924千円																																			
久美浜町市場	イカシマ揚水機場	H23~27	工事H23	759千円																																			
大宮町河辺	茂手谷池	H24~28	工事H26	627千円																																			
峰山町安	岡谷池	H24~28	工事H26	396千円																																			
網野町浜詰	浜詰灌水施設	H25~29	工事H27	660千円																																			
主な財源	分担金	土地改良施設維持管理適正化事業分担金		2,092千円																																			
	諸収入	土地改良施設維持管理適正化事業費補助金（9/10）		12,600千円																																			
評価・課題等	<p>○事業の実施により、老朽化した土地改良施設の延命化と維持管理の軽減が図られ、施設の適正な維持管理と農業経営の安定に資することができた。</p> <p>○適正な維持管理を目的に5年以内に整備補修を行う事業であり、計画的な施設整備のため、今後も適正化事業への加入に向けた取組を検討していく必要がある。</p>																																						
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課																																						

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	06団体営調査設計事業						
細事業名	01 団体営調査設計事業			決算書 P.228						
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額						
5,240千円	5,240千円	0千円	100.0%	2,500千円						
目的	ほ場の大区画化と揚水機、用水路等の改修により営農労力の節減を図り、収益の高い農業経営を目指し、農村地域の再生を図る。									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>久美浜町女布地区においては、平成26年度採択へ向け従前地調査業務を行い採択申請を行った。また丹後町上宇川地区については、ほ場整備区域の特定を進めるために地形図の作成業務を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>○委託料</td> <td>5,240千円</td> </tr> <tr> <td>女布地区従前地調査業務</td> <td>1,890千円</td> </tr> <tr> <td>上宇川地区地形図作成業務</td> <td>3,350千円</td> </tr> </table>				○委託料	5,240千円	女布地区従前地調査業務	1,890千円	上宇川地区地形図作成業務	3,350千円
○委託料	5,240千円									
女布地区従前地調査業務	1,890千円									
上宇川地区地形図作成業務	3,350千円									
主な財源										
評価・課題等	<p>○地域と協力しながら、計画作成に向けた取組を進めることができた。 ○女布地区については、農業競争力強化基盤整備事業として採択を受け、平成26年度のほ場整備事業実施に向けた準備を整えることができた。</p>									
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課									

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	07農業基盤整備促進事業				
細事業名	01 農業基盤整備促進事業			決算書 P.228				
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額				
11,865千円	50,100千円	38,235千円	23.6%	0千円				
目的	農業生産基盤の整備により、地域振興作物の生産の促進を図る。							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>大宮町三重地区藤曾堰が、経年劣化によりゴム堰本体から漏水し、農繁期に安定した取水が困難な状況にあることから、早期に改修する必要があるため、測量設計業務を実施した。</p> <p>○委託料 11,865千円 測量設計委託料 藤曾堰測量設計業務</p> <p>【参考】</p> <table border="1"> <tr> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>11,865千円</td> </tr> <tr> <td>実質的な予算執行率</td> <td>100.0%</td> </tr> </table> <p>■平成26年度への繰越事業（平成27年3月完成予定） 38,235千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 藤曾堰工事請負費 37,000千円 藤曾堰測量設計委託料 1,135千円 事務費 100千円 				繰越明許費を除いた最終予算額	11,865千円	実質的な予算執行率	100.0%
繰越明許費を除いた最終予算額	11,865千円							
実質的な予算執行率	100.0%							
主な財源	分担金	農業基盤整備促進事業分担金（16%）	1,898千円					
	府補	農業基盤整備促進事業補助金（60%）	7,119千円					
	市債	農業基盤整備促進事業債（公共事業等債）	2,600千円					
評価・課題等	<p>○藤曾堰の測量設計を行い、改修工事に向けた準備を整えることができた。</p> <p>○早期に藤曾堰の改修工事を実施する必要がある。また、三重区内の水路改修及び農道舗装工事等についても検討する必要がある。</p>							
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課							

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	08特定農業用管水路等特別対策事業
細事業名	01 特定農業用管水路等特別対策事業（繰越）			決算書 P.230
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
8,364千円	29,630千円	21,266千円	28.2 %	29,630千円
目的	石綿管に対する対策（撤去等）を実施するとともに、他の管に更新することにより、農業経営の安定及び農業、農村の維持、保全を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>石綿に起因する影響を未然に防止するため、前年度に撤去を行った石綿管について、他の管への更新工事を実施した。</p> <p>○工事請負費 8,364千円</p> <p> 用水管改修工事 L=250m 7,314千円</p> <p> 用水管改修工事 L=19m 1,050千円</p>			
主な財源	分担金	特定農業用管水路等特別対策事業分担金	418千円	
	府補	特定農業用管水路等特別対策事業補助金	6,271千円	
	市債	特定農業用管水路等特別対策事業債（公共事業等債）	1,400千円	
評価・課題等	<p>○塩化ビニル管への更新を行うことで、維持管理に係る負担を軽減することができた。</p> <p>○施設の老朽化が著しく、維持管理にかかる負担が大きいため、用水路の更新及び石綿管の撤去を早期に完了できるよう、他事業で計画的、また効率的に実施することとした。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	08農業体質強化基盤整備促進事業													
細事業名	01 農業体質強化基盤整備促進事業（繰越）			決算書 P.226													
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興													
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額													
44,796千円	44,821千円	25千円	99.9%	44,821千円													
目的	農地の区画狭小・排水不良や農業用水の不足等の農業生産基盤の課題について、迅速かつきめ細かく対応し、経営規模の拡大や戦略作物の生産の促進を図る。																
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農業生産基盤となる農業用施設等において、老朽化が著しい既存施設の改修を行った。また、隣り合ったほ場の段差を解消し水田2枚を1枚にするまち直しを行い効率の良いほ場整備を行った。</p> <p>○工事請負費（弥栄町吉沢地内） 44,796千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種類</th> <th>工事内容</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">大溝水路改修工事</td> <td>用排水路工 L=545.9m</td> <td>20,289千円</td> </tr> <tr> <td>用排水路工 L=160.1m</td> <td>8,474千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">吉沢地内まち直し</td> <td>まち直し17か所</td> <td>8,116千円</td> </tr> <tr> <td>まち直し12か所、嵩上げ4か所</td> <td>7,917千円</td> </tr> </tbody> </table>				工事種類	工事内容	金額	大溝水路改修工事	用排水路工 L=545.9m	20,289千円	用排水路工 L=160.1m	8,474千円	吉沢地内まち直し	まち直し17か所	8,116千円	まち直し12か所、嵩上げ4か所	7,917千円
	工事種類	工事内容	金額														
大溝水路改修工事	用排水路工 L=545.9m	20,289千円															
	用排水路工 L=160.1m	8,474千円															
吉沢地内まち直し	まち直し17か所	8,116千円															
	まち直し12か所、嵩上げ4か所	7,917千円															
主な財源	分担金 農業体質強化基盤整備促進事業分担金	7,167千円															
	府補 農業体質強化基盤整備促進事業費補助金（60%）	26,857千円															
評価・課題等	<p>○農業生産の基盤となる農業用施設等を改修したことによって、経営規模の拡大や戦略作物の生産の促進につながった。</p> <p>○国や府の補助事業を活用した事業の実施により、市及び地元の負担が軽減された。</p> <p>○年々、農家の数も減少し維持管理費の負担割合が増えていることから、今後も財政面で有利な事業を有効に活用し、効率的な事業実施に努めていく必要がある。</p>																
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課																

予算科目	11災害復旧費	01農林水産業施設災害復旧費	01農地・農業用施設災害復旧費	01現年発生農地・農業用施設災害復旧事業	
細事業名	01 現年発生農地・農業用施設災害復旧事業			決算書 P.368	
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
74,951千円	162,594千円	87,643千円	46.0%	0千円	
目的	災害復旧事業の実施及び補助金の交付を行い、災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	災害により被災を受けた農地・農業用施設について、従前の機能を回復させることにより、農業経営の安定と公益的機能の確保を図るため、農地・農業用施設を早急に復旧し、農業の再生産活動と農地等の多面的機能を確保した。				
	○職員手当等（時間外勤務手当）			967千円	
	○旅費			3千円	
	○委託料			19,712千円	
	測量・設計委託料				
	○使用料及び賃借料			3千円	
	有料道路通行料				
	○工事請負費			15,774千円	
		災害種類	被災箇所	金額	
		補助災害	8か所	15,774千円	
○負担金、補助及び交付金			38,492千円		
小規模災害復旧事業支援補助金	244か所				
	【参考】				
	繰越明許費を除いた最終予算額		75,050千円		
	実質的な予算執行率		99.8%		
	■平成26年度への繰越事業			87,544千円	
	○工事請負費			84,278千円	
	○小規模災害復旧事業支援補助金			2,000千円	
	○その他事務費等			1,266千円	
	平成27年3月完成予定				
主な財源	分担金	農地・農業用施設災害復旧費分担金	120千円		
	府補	農地・農業用施設災害復旧費補助金（94.3%～98.3%）	16,573千円		
	市債	農地・農業用施設災害復旧事業債	1,900千円		
評価・課題等	一部翌年度に繰越しとなったものの災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図ることができ、農家の経営安定につながった。				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	02農業委員会活動事業																																					
細事業名	01 農業委員会活動事業			決算書 P.208																																					
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																																					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																					
9,069千円	9,329千円	260千円	97.2 %	9,481千円																																					
目的	農地法等に基づき許認可の審査・諸証明を行うとともに、農政活動に取り組むことで農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農民の地位の向上に寄与する。																																								
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農地法に基づく許認可の審査を行うとともに、農政活動に取り組んだ。</p> <p>○農業委員数37人（選挙委員30人・選任委員7人 平成26年3月31日現在）</p> <p>○主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会、部会等 																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総会・部会等</th> <th>開催回数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地部会</td> <td>12回</td> <td>毎月</td> </tr> <tr> <td>農政部会</td> <td>6回</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>総会</td> <td>1回</td> <td>7月改選時</td> </tr> <tr> <td>運営委員会</td> <td>2回</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>広報委員会</td> <td>9回</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>農地パトロール</td> <td>1回</td> <td>8月実施</td> </tr> <tr> <td>全員研修会</td> <td>1回</td> <td>視察研修</td> </tr> </tbody> </table>	総会・部会等	開催回数	備考	農地部会	12回	毎月	農政部会	6回	随時	総会	1回	7月改選時	運営委員会	2回	随時	広報委員会	9回	随時	農地パトロール	1回	8月実施	全員研修会	1回	視察研修	<p>※農地法等に基づく許認可申請等の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>申請等の種類</th> <th>申請件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3条申請</td> <td>120件</td> </tr> <tr> <td>4条申請</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>5条申請</td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td>事業計画変更</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>形状変更届</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td>非農地証明</td> <td>68件</td> </tr> <tr> <td>農地法の許可を要しない転用の届出</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(平成25年4月～平成26年3月)</p>	申請等の種類	申請件数	3条申請	120件	4条申請	12件	5条申請	62件	事業計画変更	3件	形状変更届	38件	非農地証明	68件	農地法の許可を要しない転用の届出
総会・部会等	開催回数	備考																																							
農地部会	12回	毎月																																							
農政部会	6回	随時																																							
総会	1回	7月改選時																																							
運営委員会	2回	随時																																							
広報委員会	9回	随時																																							
農地パトロール	1回	8月実施																																							
全員研修会	1回	視察研修																																							
申請等の種類	申請件数																																								
3条申請	120件																																								
4条申請	12件																																								
5条申請	62件																																								
事業計画変更	3件																																								
形状変更届	38件																																								
非農地証明	68件																																								
農地法の許可を要しない転用の届出	4件																																								
	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会だよりの発行 ・意見書等の提出 <p>平成26年度京丹後市農業施策に関する意見書（11月）</p> <p>○主な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業委員報酬（会長報酬：250千円/年・委員報酬：181千円/年） 6,676千円 ・「農業委員会だより」発行経費 年3回（8月・12月・2月 全戸配布） 563千円 ・視察研修経費（11月25日、京田辺市） 143千円 ・京都府農業会議拠出金 674千円 ・農地基本台帳システムの保守費 420千円 ・その他農業委員会活動経費 593千円 																																								
主な財源																																									
評価・課題等	<p>○農業者等からの相談に対して、農地法に基づき適正に対応するとともに、農業者の意見を代表して要望活動を行った。</p> <p>○国が示す食糧自給率の向上に向けて、農地の担い手への集積や耕作放棄地の解消等農地の有効利用を促進する必要がある。</p>																																								
事業所管課	農業委員会事務局																																								

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	03農業者年金事務																		
細事業名	01 農業者年金事務			決算書 P.208																		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																		
852千円	854千円	2千円	99.7%	609千円																		
目的	農業者年金加入者及び受給者の資格管理等の事務を行い、農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図る。																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農業者年金加入者及び受給者の適正な資格管理等の事務を行った。</p> <p>○ 農業者年金の裁定請求、加入促進、受給者の資格管理等に関する事務費 852千円 旅費、消耗品、燃料費、郵送料、公用車リース料等</p> <p>○ 加入者・受給者の状況（平成26年3月末）</p> <table border="0"> <tr> <td>①新制度の加入者の状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 政策支援加入者数</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td> 通常加入者数</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>②受給者の状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 経営移譲年金・老齢年金受給者数</td> <td>480人</td> </tr> </table> <p>○ 年金資格及び保険料関係・給付関係書類の処理状況（平成25年4月～平成26年3月）</p> <table border="0"> <tr> <td>死亡届</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>未支給年金請求書</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>現況届(経営移譲年金・老齢年金)</td> <td>504人</td> </tr> </table>				①新制度の加入者の状況		政策支援加入者数	13人	通常加入者数	42人	合 計	55人	②受給者の状況		経営移譲年金・老齢年金受給者数	480人	死亡届	42人	未支給年金請求書	41人	現況届(経営移譲年金・老齢年金)	504人
①新制度の加入者の状況																						
政策支援加入者数	13人																					
通常加入者数	42人																					
合 計	55人																					
②受給者の状況																						
経営移譲年金・老齢年金受給者数	480人																					
死亡届	42人																					
未支給年金請求書	41人																					
現況届(経営移譲年金・老齢年金)	504人																					
主な財源	諸収入	農業者年金事務委託金	852千円																			
評価・課題等	<p>○農業者年金加入者及び受給者の資格管理を行うことで、農業者の老後生活の安定と福祉の向上に資することができた。</p> <p>○農業者のための上乘せ年金制度であり、農業者の老後生活の安定のため、加入を促進する必要がある。</p>																					
事業所管課	農業委員会事務局																					

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	07農地制度実施円滑化事業															
細事業名	01 農地制度実施円滑化事業			決算書 P.208															
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興															
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額															
4,412千円	4,425千円	13千円	99.7%	4,706千円															
目的	改正農地法に基づいた農地制度を円滑に実施するため、耕作放棄地対策の専門員を設置し、農地の利用調査、農地の利用調整等を実施し、農地の保全を図る。																		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>遊休農地利活用推進員・農地相談員を設置し、農地の利用状況調査及び農地利活用調整活動を実施した。</p> <p>○ 遊休農地の利用状況調査等に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員共済費 497千円 (遊休農地利活用推進員・農地相談員 各1人) ・臨時職員賃金 3,119千円 (遊休農地利活用推進員・農地相談員 各1人) ・農業委員旅費 18千円 ・職員旅費 11千円 ・需用費(事務用品、コピー代、燃料費ほか) 497千円 ・役務費(調査等に係る自動車損害共済保険) 18千円 ・使用料及び賃借料 252千円 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数</th> <th>該当面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査筆数</td> <td>925 筆</td> <td>45.3ha</td> </tr> <tr> <td>地主面談</td> <td>147 件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農家面談</td> <td>107 件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交渉成立</td> <td>40 筆</td> <td>3.4ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 地主及び農家と面談の結果、ともに合意した場合のみ交渉成立となる。</p>				種別	件数	該当面積	調査筆数	925 筆	45.3ha	地主面談	147 件		農家面談	107 件		交渉成立	40 筆	3.4ha
種別	件数	該当面積																	
調査筆数	925 筆	45.3ha																	
地主面談	147 件																		
農家面談	107 件																		
交渉成立	40 筆	3.4ha																	
主な財源	府補 農地制度実施円滑化事業費補助金 (補助率10/10)			3,059千円															
評価・課題等	<p>○ 農業者の高齢化や農産物価格の長期低迷、獣害の急激な増加等により耕作放棄地が増加する中で、農地法に基づいて、農地の利用状況調査を実施し、農地の保全を図った。</p> <p>○ 今後も、農業従事者の減少・高齢化が進むことが予測される中で、耕作放棄地を解消し、いかに有効利用を図っていくかが課題である。</p>																		
事業所管課	農業委員会事務局																		

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	50農業委員会一般経費								
細事業名	01 農業委員会一般経費			決算書 P.208								
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額								
476千円	592千円	116千円	80.4 %	592千円								
目的	農業委員会事務局の事務等に要する経費											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農業委員会事務局の事務等に要する経費</p> <table border="0"> <tr> <td>需用費（公用車のガソリン代、修理代等）</td> <td>261千円</td> </tr> <tr> <td>役務費（公用車の保険料、タイヤ等処分手数料）</td> <td>129千円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料（公用車のリース料）</td> <td>50千円</td> </tr> <tr> <td>公課費（自動車重量税）</td> <td>36千円</td> </tr> </table>				需用費（公用車のガソリン代、修理代等）	261千円	役務費（公用車の保険料、タイヤ等処分手数料）	129千円	使用料及び賃借料（公用車のリース料）	50千円	公課費（自動車重量税）	36千円
需用費（公用車のガソリン代、修理代等）	261千円											
役務費（公用車の保険料、タイヤ等処分手数料）	129千円											
使用料及び賃借料（公用車のリース料）	50千円											
公課費（自動車重量税）	36千円											
主な財源												
評価・課題等	農業委員会事務局事務を適切に実施するとともに、公用車の効率的な維持管理に努めた。											
事業所管課	農業委員会事務局											

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	07有害鳥獣対策事業		
細事業名	01 有害鳥獣捕獲事業			決算書 P.230		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
68,610千円	68,871千円	261千円	99.6 %	34,008千円		
目的	有害鳥獣を捕獲することで、野生鳥獣による農作物被害、営農意欲の低下、生活環境の悪化及び人身への危害を未然に防止する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	有害鳥獣を捕獲するため猟友会に業務を委託するとともに、緊急捕獲対策事業（国）及びシカ捕獲強化事業（府）と一体化して取組んだほか、狩猟免許及び猟銃購入費等の支援を行い、捕獲班員の確保を図った。また、有害鳥獣の捕獲に係る会議や、被害確認等を行った。					
	○報償費	1,032千円				
	シカ捕獲奨励金（府）	43人				
	○事務費等経費	330千円				
	職員出張旅費	13千円				
	コピー用紙、公用車燃料代、オイル交換他修繕料等	246千円				
	自動車保険料、登録手数料、重量税	68千円				
	有料道路使用料	3千円				
	○有害捕獲委託料	66,743千円				
	捕獲数実績	(単位：頭、匹、羽)				
	イノシシ	シカ	サル	小動物	鳥類	合計
H25	1,805	3,328	24	215	459	5,831
(国)	1,142	1,066	2	39	365	2,614
(府)	—	378	—	—	—	378
H24	910	2,096	56	252	470	3,784
○捕獲支援のための補助金	505千円					
狩猟免許取得奨励補助金（補助交付者：7人）1/2補助	55千円					
猟銃所持許可更新手数料（補助交付者：12人）1/2補助	80千円					
猟銃購入費補助金（補助交付者：3人）1/2補助	370千円					
手数料	有害鳥獣捕獲班員証明、捕獲等参加証明手数料			4千円		
府補	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策交付金（国庫、定額）			14,425千円		
府補	有害鳥獣捕獲関係事業費補助金（1/2）			18,681千円		
府補	丹後地域広域有害鳥獣捕獲事業委託料（定額）			910千円		
市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）			6,000千円		
評価・課題等	○イノシシ・シカの捕獲数は、緊急捕獲事業により43%、シカ捕獲強化事業では11%を占め24年度対比で約41%増加したにもかかわらず、農作物等の被害は5%増加した。 ○緊急捕獲事業（27年度）、シカ捕獲強化事業（26年度）の終了により、以降の捕獲頭数減少が考えられる。 ○猟友会員の高齢化により、駆除班員の育成が必要である。					
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課					

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	07有害鳥獣対策事業
細事業名	02 有害鳥獣防除事業			決算書 P.230
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,808千円	5,810千円	2千円	99.9%	0千円
目的	サル追い払い対策の強化を行い、サルによる農作物や人身被害の拡大を防止する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>ロケット花火等を配付し地域ぐるみの追い払い体制を整備するとともに、サル追い払い隊を編成し、地域に出没するサルの追い払いのサポートを行った。 また、追い払い隊によるサルの行動調査や被害調査を行った。</p> <p>○消耗品費 391千円 ロケット花火、モデル銃弾、ライター他</p> <p>○備品購入費 497千円 モデル銃 (29丁) サル追い払い隊：4班 (4丁) 集落：13集落 (25丁)</p> <p>○サル追払業務委託料 4,920千円 シルバー人材センターへの委託実施 (4班/1班4人体制) 委託期間：平成25年10月15日～平成26年3月31日 活動時間：平日 (月～金曜日) 1日4時間 (午前・午後各2時間) 業務内容：追い払いパトロール、被害状況調査、防護柵の設置・点検指導 実施地域：上宇川、下宇川、豊栄、竹野の連合区単位</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○追い払い対策の実施によりサルの出没頻度、集落での滞在時間が減少した。 ○追い払い隊の調査により被害状況が把握できた。 ○集落と追い払い隊との調整を十分に行い、追い払いを効率的に実施していく必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部/農林整備課			

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	07有害鳥獣対策事業	
細事業名	04 獣害防止里山林整備事業			決算書	P.230
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
1,352千円	1,353千円	1千円	99.9%	1,126千円	
目的	集落周辺の森林を対象とした不要木の伐採、下草刈、管理用通路の開設を行い、あわせて広葉樹を植えるなど、里山整備を行うことにより人と獣との緩衝帯とし、獣害を防止する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>協定締結地において、協定書に基づき森林整備事業を実施した。</p> <p>○実施箇所：大宮町三重地区</p> <p>工事請負費 1,352千円</p> <p>樹下植栽（改良） A=1.38ha、作業路開設 L=219m</p>				
主な財源	分担金	森林整備事業分担金			27千円
	府補	森林整備費補助金（89%）			1,200千円
評価・課題等	集落周辺の森林を対象とした不要木の伐採、下草刈、管理用通路の開設を行うことにより緩衝帯の整備が図れた。				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	07有害鳥獣対策事業																
細事業名	06 猪・鹿肉処理施設運営管理事業			決算書 P.230																
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																
10,354千円	10,375千円	21千円	99.7%	10,216千円																
目的	捕獲したイノシシ、シカを地域資源として活用し、観光客の誘致や地域振興を図る。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>猪、鹿肉処理施設「京たんご ぼたん・もみじ比治の里」の運営委託及び施設の維持管理を行った。</p> <p>○施設運営費 10,354千円</p> <p>レシ袋他消耗品、公用車ガソリン代、電気代等 1,994千円</p> <p>電話通話料、防虫管理手数料、火災及び自動車保険料 244千円</p> <p>猪・鹿肉処理委託料 7,000千円</p> <p>浄化槽維持管理委託料等 399千円</p> <p>自動車借上料（4月～7月）、イベント資材借上料 52千円</p> <p>施設用地賃借料（583.4㎡） 105千円</p> <p>軽トラック購入 1台 560千円</p> <p>(参考) 施設搬入頭数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イノシシ</td> <td>77頭</td> <td>66頭</td> <td>100頭</td> </tr> <tr> <td>シカ</td> <td>333頭</td> <td>398頭</td> <td>480頭</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>410頭</td> <td>464頭</td> <td>580頭</td> </tr> </tbody> </table>				区分	H23	H24	H25	イノシシ	77頭	66頭	100頭	シカ	333頭	398頭	480頭	合計	410頭	464頭	580頭
区分	H23	H24	H25																	
イノシシ	77頭	66頭	100頭																	
シカ	333頭	398頭	480頭																	
合計	410頭	464頭	580頭																	
主な財源	諸収入 猪・鹿肉精肉販売代金 2,640千円 市債 過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債） 4,300千円																			
評価・課題等	<p>○適切な施設管理と、開業時間を30分早めるなど搬入頭数増加のための取組により、搬入頭数が増加した。</p> <p>○有害鳥獣捕獲事業の課題となっている捕獲したイノシシ、シカの個体処理作業の負担軽減が図れ、捕獲頭数が増加した。</p> <p>○搬入個体の品質により、コースなど高額商品の生産量が増減するため販売収入が安定しない。</p>																			
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課																			